令和元年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人摂津宥和会

令和元年度　社会福祉法人摂津宥和会　事業報告

少子高齢化の進展や人口減少社会の到来等に伴い、国においては、子ども・高齢者・障害者などの全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現のため、『「我が事」「丸ごと」の地域づくり』や『公的支援を「縦割り」から「丸ごと」へ転換』をめざしている。

当法人においては、社会福祉法の責務である「地域における公益的な取り組み」の一環として、「こども食堂」を月 1 回、別府コミュニティセンターで実施した。毎回定員を超えての申込があり、別府地域の多くの児童が利用した。運営については、法人の職員だけでなく、地域の様々な福祉関係者と協力しながら実施することができた。

地域生活支援拠点等事業の整備に向けて、重度障害の方を対象としたオーダーリース型グループホームについて、令和 3 年 4 月の開設をめざして計画を進めてきた。摂津市鳥飼上に、グループホーム 10 床、短期入所 5 床の 2 階建ての建物を計画し、設計図面の打ち合わせも最終段階に入っている。また、短期入所機能を併設させることで、拠点等整備に必要な重点項目である「緊急時の受け入れ」「体験利用の場の確保」を円滑に実施できるように検討を重ねている。

令和 2 年 1 月に日本国内で初めて感染者が確認された新型コロナウイルス感染症について、当初は中国への渡航歴や接触歴のある感染者のみであったが、次第に小規模な感染者の集団（クラスター）の発生に加え、国内の複数地域で感染経路が明らかでない感染が発生するなど、感染の拡大が起こっている。また、欧州や米国においては感染が爆発的に拡大し、医療崩壊により十分な医療が受けられない状況が起きるなど、世界の状況はさらに厳しいものとなっている。

当法人においては、厚生労働省、大阪府及び摂津市の発表やガイドライン等に基づき、各施設において、感染拡大防止への取り組みを徹底して行った。また、全職員に対して通知文を配布し、感染拡大防止に対する注意喚起を行った。

１　事務局　・・・・・・・　1

２　地域生活支援センター

Ⅰ　障害者支援施設「摂津市立みきの路　・・・・・・・　14

Ⅱ　共同生活援助（グループホーム）　・・・・・・・　29

３　摂津市立児童発達支援センター

Ⅰ　児童発達支援センター「つくし園」　・・・・・・・　41

Ⅱ　障害児通所支援施設「めばえ園」　・・・・・・・　54

４　多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」　・・・・・・・　60

５　摂津市立身体障害者・老人福祉センター　・・・・・・・　83

６　摂津市障害者職業能力開発センター「せっつくすのき」　・・・・・・・　92

７　摂津市立第１児童センター　・・・・・・・103

８　摂津市障害者総合支援センター

Ⅰ　摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」　・・・・・・・113

Ⅱ　茨木・摂津障害者就業・生活支援センター　・・・・・・・118

1　事務局

1　概況

平成 29 年 4 月からの社会福祉法の改正では、社会福祉法人の公益性・非営利を確保する観点から、経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上等の制度の見直しが行われ、地域社会に貢献する法人の在り方がさらに求められることとなった。

今年度は、「地域における公益的な取り組み」の一環として、月 1 回、別府コミュニティセンターで「こども食堂」を実施した。法人職員のみでなく、地域の様々な福祉関係者、ボランティア、人間科学大学の学生などの協力を得ながら実施することができた。

人材の確保・育成・定着に向けて、就職フェアへの積極的な参加、ホームページの全面リニューアル、新規採用職員日誌の導入など、昨年度よりもさらに積極的に取り組んだ。

また、新型コロナウイルス感染症について、厚生労働省、大阪府及び摂津市の発表やガイドライン等に基づき、感染拡大防止への取り組みを徹底して行った。

2　事業の実施状況

（1）理事会の開催

回	開催日	出席者	議　　案
1	令和元年 5 月 28 日	理事　6 名 監事　2 名	1　理事長の業務執行報告 2　業務執行理事の業務執行報告 3　平成 30 年度第 1 回評議員選任・解任委員会の議事 4　平成 30 年度事業報告承認 5　平成 30 年度決算承認 6　令和元年度第 1 回定時評議員会の開催について
2	令和元年 6 月 17 日	理事　6 名 監事　2 名	1　理事長選定 2　業務執行理事選定
3	令和 2 年 1 月 27 日	理事　6 名 監事　2 名	1　新規グループホーム開設 2　令和元年度補正予算第 1 号
4	令和 2 年 3 月 26 日	理事　6 名 監事　2 名	1　理事長の業務執行報告 2　業務執行理事の業務執行報告 3　補正予算（第 2 号～第 5 号）専決処分 4　職員就業規則の一部を改正する規則制定 5　職員給与に関する規則の一部を改正する規則制定 6　指定管理者年度協定書締結 7　グループホーム「ひまわり」開設にかかる賃貸借契約書締結 8　経理規則の一部を改正する規則制定 9　令和 2 年度事業計画承認 10　令和 2 年度収支予算承認 11　施設長選任

（２）評議員会の開催

開催日	出席者	議　　案
令和元年６月17日	評議員　７名 理　事　６名 監　事　２名	1　平成30年度第１回評議員選任・解任委員会の議事 2　令和元年度第１回理事会の議事 3　平成30年度決算承認 4　理事及び監事の選任 5　役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部を改正する規程制定

（３）監事監査の実施

実施日	出席者	監査内容
令和元年５月22日	監　事　２名	1　平成30年度事業報告 2　平成30年度計算書類及び財産目録

（４）施設連絡会の開催

開催日	出席者	主な内容
平成31年４月10日	８名	各施設の近況報告 ７月１日から敷地内全面禁煙について 他
平成31年４月24日	９名	各施設の近況報告 ＧＷ10連休中の対応について 他
令和元年５月15日	９名	各施設の近況報告 施設点検研修の報告について 他
令和元年５月29日	９名	各施設の近況報告 クリアファイルの作品募集について 他
令和元年６月12日	９名	各施設の近況報告 パワーアップ事業「サービス向上部会」報告 他
令和元年６月26日	９名	各施設の近況報告 パワーアップ事業「経営戦略部会」報告 他
令和元年７月10日	９名	各施設の近況報告 ホームページワークショップについて 他
令和元年７月24日	９名	各施設の近況報告 パワーアップ事業「人材育成部会」報告 他
令和元年８月14日	９名	各施設の近況報告 採用６か月時面談シートについて 他
令和元年８月28日	９名	各施設の近況報告 令和元年度パワーアップ事業について 他
令和元年９月11日	９名	各施設の近況報告 令和２年度予算要求について 他
令和元年９月25日	９名	各施設の近況報告 緊急メールシステムの導入について 他

令和元年 10 月 16 日	9 名	各施設の近況報告 「セコム安否確認サービス」導入検討について 他
令和元年 10 月 30 日	9 名	各施設の近況報告 ホームページリニューアルについて 他
令和元年 11 月 13 日	8 名	各施設の近況報告 「セコム安否確認サービス」の運用について 他
令和元年 11 月 27 日	9 名	各施設の近況報告 働き方改革に伴う給与等改正案について 他
令和元年 12 月 11 日	9 名	各施設の近況報告 安否確認訓練の実施について 他
令和元年 12 月 25 日	9 名	各施設の近況報告 年末年始の注意喚起・連絡体制について 他
令和 2 年 1 月 15 日	9 名	各施設の近況報告 第 1 回働き方改革協議会の内容について 他
令和 2 年 1 月 29 日	8 名	各施設の近況報告 第 2 回働き方改革協議会の内容について 他
令和 2 年 2 月 13 日	9 名	各施設の近況報告 職員説明会の実施について 他
令和 2 年 2 月 26 日	9 名	各施設の近況報告 新型コロナウイルス感染症への対応について 他
令和 2 年 3 月 10 日	9 名	各施設の近況報告 新型コロナウィルス感染症拡大防止について 他
令和 2 年 3 月 25 日	9 名	各施設の近況報告 令和 2 年度からの組織改正について 他

（6）法人運動会の開催

利用者・家族・ＯＢ・職員参加の「法人運動会」の開催を、令和元年 10 月 26 日（土）に予定し、それに向けて準備を進めてきたが、悪天候のため中止とした。

（7）パワーアップ事業

平成 29 年度より、事業展開や組織のあり方について議論し、法人全体で認識を共有していくことを目的とし、「パワーアップ事業」を実施している。今年度は、主任級以上の職員に加えて、副主任級のサービス管理責任者も、4 つの部会のいずれかに属し、議論を重ねた。

部会名	主な内容
経営戦略部会	・中長期事業計画書（案）の作成を行う。 ・構成メンバー：7 名 ・実施日：11/5、12/4、1/16、2/19

サービス向上部会	・こども食堂と地域共生社会にかかる取り組みについて検討を進める。 ・構成メンバー：7 名 ・実施日：10/24、11/14、2/25
人材育成部会	・人材育成方針の具体的な内容について検討を進める。 ・構成メンバー：7 名 ・実施日：12/2、1/10、2/18
リスクマネジメント部会	・虐待防止マニュアル（案）の作成を行う。 ・構成メンバー：5 名 ・実施日：10/2、11/6、12/20、1/22、2/27、3/26

3　情報公開

（1）財務諸表等電子開示システム

独立行政法人福祉医療機構が運営する「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」を通じて、平成 30 年度計算書類等及び財産目録等、現況報告書を公開した。

（2）障害福祉サービス等情報公開システム

平成 30 年 4 月より施行された「障害福祉サービス情報公開制度」に基づき、独立行政法人福祉医療機構が運営する「障害福祉サービス等情報公開システム」を通じて、当法人の運営する障害福祉サービスの内容について公開している。

（3）ホームページでの情報公開

法人ホームページにおいて、定款、役員名簿、役員等報酬規程、事業計画書、事業報告書、計算書類、財産目録、現況報告書、監事監査報告書を公開している。

4　人材確保・育成・定着に向けた取り組み

（1）人材確保に向けた取り組みについて

① 就職フェアへの参加

実施日	内　容
令和元年 7 月 7 日	「2019 摂津市介護のお仕事 福祉就職フェア」 ・主催：摂津市介護保険事業者連絡会 ・場所：摂津市立コミュニティプラザ ・当日参加職員：理事長、事務局長、施設長、支援員

令和元年7月20日	「福祉の就職総合フェア　2019 in OSAKA」 ・主催：大阪府社会福祉協議会 ・場所：インテックス大阪 ・当日参加職員：理事長、事務局長、支援員、事務局
令和2年2月22日	「キャリタス福祉フォーラム」 ・主催：株式会社ディスコ ・場所：梅田スカイビル ・当日参加職員：理事長、支援員、事務局
令和2年3月11日	「福祉の就職総合フェア　SPRING in OSAKA」 ※参加予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
令和2年3月29日	「キャリタス福祉フォーラム」 ※参加予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止

② 広報活動

・法人ホームページの全面リニューアルを行い、「WordPress」を利用して、これまでよりも簡単にホームページを更新していくことが可能になった。

・法人ホームページに募集要項を掲載し、職員募集を行った。

・第1児童センターにおいて、従来からのホームページに加えて、ＳＮＳを利用した情報発信を行った。

・職員コンペとして職員から作品を募集し、その中で優秀な作品をプリントしたクリアファイルを作成した。施設見学や就職フェアの際に配布し、法人及び施設のアピールに努めた。

（2）人材育成への取り組み

① 法人内研修

職場におけるハラスメント防止への取り組み強化のため、全職員を対象としたハラスメント研修を2回実施した。

実施日	主な内容	参加人数
令和元年 11月1日 11月8日	職場のハラスメントを考える 講師：特定社会保険労務士　板東 嘉子　氏 ・働き方改革の背景 ・働き方改革とハラスメントの関連性 ・パワーハラスメントとは ・セクシャルハラスメントとは ・職場のハラスメントの予防・解決・再発防止の手法	11月1日 37名 11月8日 45名 計82名

② 外部研修

法人事務局職員としての資質向上を目的に、外部研修を積極的に受講した。

開催日	内　容	主　催	場　所	参加者
平成 31 年 4 月 23 日	社会福祉法人制度改革 事務担当者フォロー アップセミナー	全国経営協	新大阪江坂東急 REI ホテル	事務局 職員
令和元年 5 月 30 日	令和元年度障がい者総合支援制度における指定事業者・施設集団指導	大阪府	松原市文化会館	事務局 職員
令和元年 6 月 20 日	令和元年度大阪府・市町村 社会福祉法人・施設等 指導監査合同説明会	大阪府	クレオ大阪中央	事務局 職員
令和元年 7 月 24 日	社会福祉法人会計実務 セミナー	福祉医療機構	グランキューブ 大阪	事務局 職員
令和元年 12 月 20 日	令和元年度中長期計画 策定セミナー	全国経営協	TKP ガーデン シティ大阪梅田	事務局 職員
令和 2 年 2 月 19 日	法人プランディング＆ 広報 PR セミナー	全国経営協	新大阪江坂東急 REI ホテル	事務局 職員

③ 新規採用職員研修

新規採用職員を対象として、採用時研修を実施した。

実施日	参加者
平成 31 年 4 月 1 日	新規採用職員 7 名
令和元年 5 月 1 日	新規採用職員 1 名
令和元年 8 月 1 日	新規採用職員 1 名
令和元年 11 月 1 日	新規採用職員 1 名

（3）人材定着に向けた取り組み

① 新規採用職員に対するフォローアップ体制の構築

・今年度より、「新規採用職員日誌」を作成し、配属先の指導担当職員との 3 か月にわたる日誌記入を通して、新規採用職員の指導に努めた。

・採用 6 か月後に、指導担当職員及び施設長との面談を実施した。

・採用 6 か月後に、理事長及び事務局長との懇話会を実施した。

② 福利厚生事業

職員健康診断	◎一次検診 ・実施日：令和元年 7 月 29 日～8 月 2 日 ◎二次検診 ・実施日：令和元年 10 月 9 日、10 日 ◎子宮がん検診 ・実施日：令和元年 11 月 1 日、11 日 ◎夜勤従事職員健康診断 ・実施日：令和 2 年 2 月 26 日
大阪民間社会福祉事業従事者共済会	・一般給付金事業 ・生活サポートサービス　他
福利厚生センター（ソウェルクラブ）	・慶事のお祝い ・健康生活用品給付　他

5　地域における公益的な取り組み

（1）社会貢献事業

昨年度から引き続き、大阪府社会福祉協議会社会貢献事業である「大阪しあわせネットワーク」に参画し、コミュニティソーシャルワーカーを配置して、地域で課題を抱える方への支援を行った。

（2）「こども食堂」の実施

今年度より、月 1 回、別府コミュニティセンターで「こども食堂」を実施している。法人職員のみでなく、地域の様々な福祉関係者と協力し、計１１回実施した。

（3）災害時の福祉避難所

「摂津市立みきの路」及び「摂津市立ふれあいの里」は、摂津市と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結している。災害時には、地域の高齢の方や障害のある方々などを地域から受け入れ、安心安全に過ごせる避難所を運営できるよう、パワーアップ事業のリスクマネジメント部会において、「福祉避難所運営マニュアル」や「備蓄品リスト」の作成に取り組んだ。

6　働き方改革に向けた取り組み

（1）労働法制の見直し

年次有給休暇が 10 日以上付与される全ての職員に対し、年 5 日、時季を指定して年次有給休暇を取得させた。

（２）雇用形態に関わらない公正な待遇の確保

令和２年度からの施行に向けて、法人としての取り組みについての協議の場として、「働き方改革に関する協議会」を開催した。

実施日	出席者	協議内容
令和元年 12 月 16 日	契約職員　6 名 親睦会役員　2 名 事務局　2 名	働き方改革に伴う給与等改正案（Ⅰ）について
令和２年１月 24 日	契約職員　6 名 親睦会役員　2 名 事務局　2 名	・各施設における意見集約の結果 ・働き方改革に伴う給与等改正案（Ⅱ）について

（３）職員説明会の実施

「働き方改革に関する協議会」の内容を踏まえ、非正規職員の給与制度について、定期昇給を導入した新たな給与制度を創設した。

また、その内容について、全職員を対象とした職員説明会を実施した。

実施日	出席者	場　所
令和２年３月３日	正職員　24 名	ふれあいの里
令和２年３月４日	契約職員　8 名	ふれあいの里
令和２年３月４日	契約職員　4 名	児童発達支援センター
令和２年３月５日	契約職員　14 名	みきの路
令和２年３月 12 日	正職員　31 名	みきの路

7　災害や事故等への備え

（１）防犯訓練

不審者等による犯罪に備えるため、摂津警察署に依頼し、全職員対象の防犯訓練を実施した。

実施日	出席者	場　所
令和元年 11 月 15 日	20 名	みきの路

（２）救命法講習

摂津市消防本部に依頼し、全職員対象の救命法講習を実施した。

実施日	出席者	場　所
令和元年８月 16 日	14 名	みきの路
令和２年１月 24 日	10 名	ふれあいの里
令和２年２月 28 日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
令和２年３月 13 日		

（3）「セコム安否確認サービス」の導入

昨今、全国各地で多発している地震やその他広域災害に備え、職員と法人の連絡手段として、セコムトラストシステムズ株式会社が提供する「安否確認サービス」を導入した。導入にあたっては、利用方法に関する管理職向けの説明会を開催した。また、全職員にマニュアルを配布し、利用方法について周知した。

8　新型コロナウイルス感染症への対応

中華人民共和国湖北省武漢市において発生した新型コロナウイルス感染症について、欧州や米国で感染が爆発的に拡大し、医療崩壊により十分な医療が受けられない状況が起きるなど、世界の状況は厳しいものとなっている。また、国内においては、東京や大阪といった都市部を中心に患者が急増している。

当法人においては、厚生労働省、大阪府及び摂津市の発表やガイドライン等に基づき、以下のとおり対応した。

（1）各施設の運営状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

事務局	通常通り
みきの路	通常通り
グループホーム	通常通り
児童発達支援センター	くまさん親子教室は中止（～4/7）
ひびきはばたき園	通常通り
身体障害者・老人福祉センター	臨時休館（～4/7）
せっつくすのき	臨時休校（～4/3）
第 1 児童センター	臨時休館（～4/7）
障害者総合支援センター	通常通り

（2）感染防止策について

・各施設においては、入口にマスク及び手指用消毒液を設置している。
・新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起を促す掲示物を掲示している。
・37.5 度以上の発熱及び呼吸器症状のある方については、施設内への立ち入りをお断りしている。

（3）職員への注意喚起について

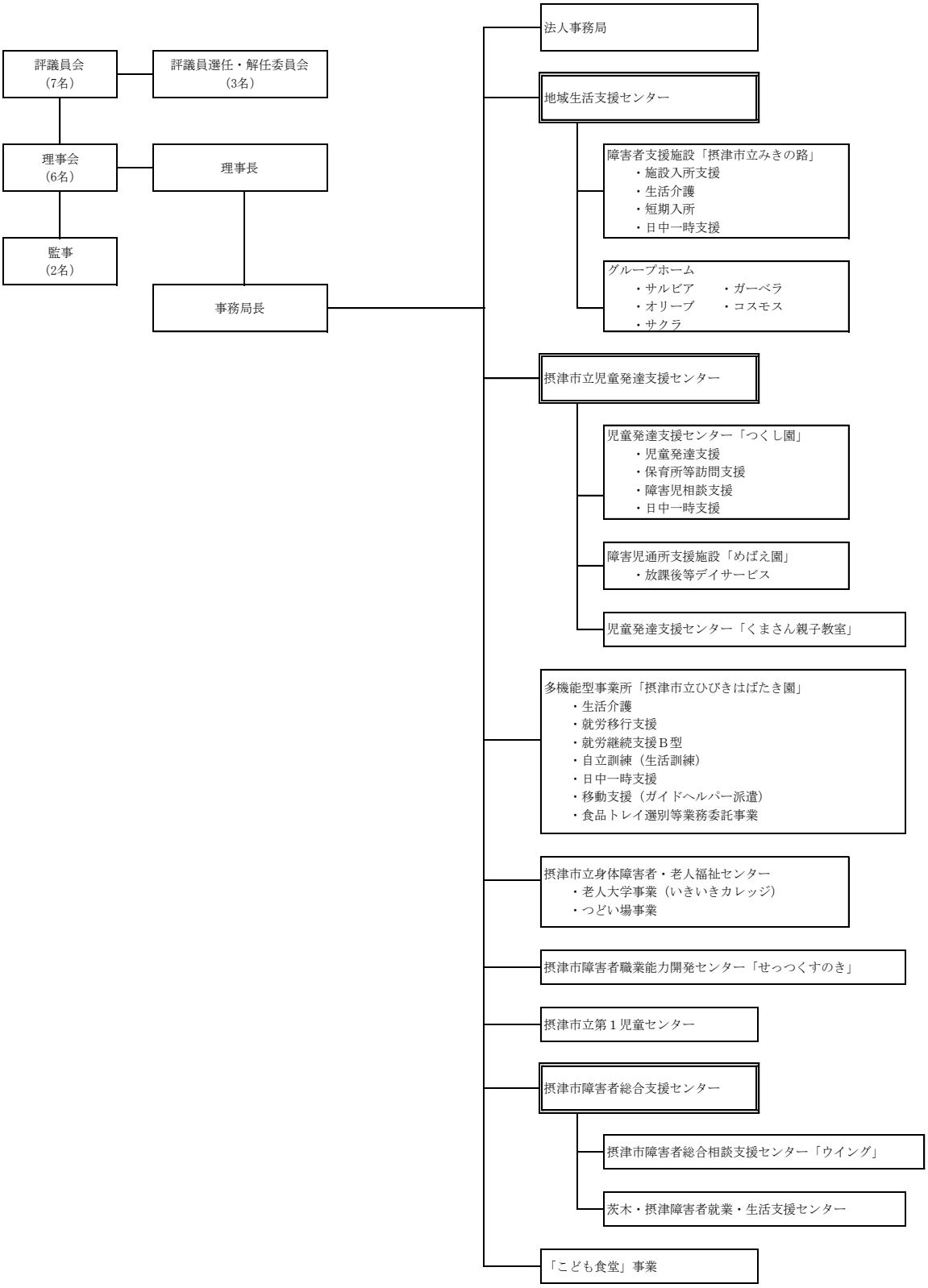
・3 月 9 日と 3 月 25 日の 2 回、全職員向けの通知文を配布した。
・閉鎖空間での食事会など、「換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まる」ことについては、当面の間自粛するよう要請している。
・37.5 度以上の発熱などの風邪症状がある場合は、出勤をせず、速やかにかかりつけ医等を受診し、施設長へ診断結果を必ず報告するよう周知している。
・こまめな手洗いや、咳エチケットなどの予防対策の実施を周知している。

9　役員・評議員体制

①　役員・評議員（令和 2 年 3 月 31 日現在）

役職名	氏　名	所　属
理事長	松嶋　桂子	社会福祉法人摂津宥和会　理事長
理　事	稲田　通子	摂津市手をつなぐ親の会　会長
理　事	西原　道男	摂津市肢体不自由児者父母の会
理　事	山下　恵美子	摂津市立ひびきはばたき園家族会
理　事	小島　勝英	摂津市身体障害者福祉協会　副会長
業務執行理事	登阪　　弘	社会福祉法人摂津宥和会　事務局長
監　事	村田　　守	鳥飼小学校地区福祉委員会　委員長
監　事	辻　　晴雄	辻税務経営事務所　所長
評議員	高岡　國士	社会福祉法人成光苑　理事長
評議員	坂本　ヒロ子	社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会　理事長
評議員	榎谷　佳純	社会福祉法人摂津市社会福祉協議会　会長
評議員	井川　美知子	摂津市民生児童委員協議会
評議員	鶴野　隆浩	大阪人間科学大学　教授
評議員	杉本　正彦	一般財団法人摂津市保健センター　事務局長
評議員	野村　眞二	摂津市保健福祉部長

１０　組織図（令和２年３月31日現在）



１１　施設定員と職員配置（令和２年３月31日現在）

施設区分	施設定員	職員配置				合　計
		正職員	契約職員	嘱託職員	嘱託医	
事務局		2				2
地域生活支援センター						
障害者支援施設「摂津市立みきの路」		22	14	10	2	48
施設入所支援	30					
生活介護	40					
短期入所・日中一時支援	5					
グループホーム「サルビア」	10	3	2	30		35
グループホーム「ガーベラ」	5					
グループホーム「オリーブ」	4					
グループホーム「コスモス」	4					
グループホーム「サクラ」	6					
摂津市立児童発達支援センター						
児童発達支援センター「つくし園」	30	13	5		2	20
障害児通所支援施設「めばえ園」	10	2	1	2	1	6
児童発達支援センター「くまさん親子教室」		3				3
多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」		15	9	5	3	32
生活介護	28					
就労移行支援	10					
就労継続支援Ｂ型	16					
自立訓練	6					
摂津市立身体障害者・老人福祉センター		4				4
摂津市障害者職業能力開発センター	20	5	2	1		8
摂津市立第１児童センター		2	3			5
摂津市障害者総合支援センター						
摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」		7				7
茨木・摂津障害者就業・生活支援センター		4	3			7
合　計		82	39	48	8	177

１２　車輌管理状況（令和２年３月31日現在）

施　設		年　式	取得 年月日	車　輌	車両番号	年間走行距離 (Km)	所有区分	備　考
1	法人事務局	H18.1	H29.3	トヨタ　パッソ 乗用車	大阪503　も 60-16	2,274	法人	
2	地域生活支援センター 摂津市立みきの路	H29.3	H29.3	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪800　そ 15-69	7,521	法人	日本財団助成
3	〃	H30.6	H30.6	スズキ　エブリィ 車椅子移動車	大阪880　あ 41-39	1,697	リース	
4	〃	H31.3	H31.3	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪801　そ 37-28	7,960	リース	
5	〃	H31.3	H31.3	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪801　そ 37-29	6,215	リース	
6	〃	H27.3	H27.3	トヨタ　シエンタ 車椅子移動車	大阪503　ふ 58-98	2,549	リース	
7	地域生活支援センター グループホーム	H20.6	H29.3	ダイハツ　タント 軽乗用車	大阪581　な 16-83	6,616	法人	
8	〃	H22.3	H29.3	ホンダ　バモス 軽乗用車	大阪581　な 16-82	4,842	法人	
9	摂津市立児童発達支援センター	H23.2	H23.2	日産　キャラバン 送迎用ワゴン	大阪302　す 43-48	4,544	法人	日本財団助成
10	〃	H29.4	H29.4	日産　シビリアン 送迎用マイクロバス	大阪200　は 5-98	7,816	リース	
11	〃	H30.4	H30.4	ニッサン　デイズ 軽乗用車	大阪581　は 12-41	3,090	リース	
12	〃	H26.8	H26.8	スズキ　スクーター 原付バイク	摂津市　A 33-76	359	法人	
13	摂津市立ひびきはばたき園	H23.3	H23.3	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪800　せ 51-66	9,334	法人	日本財団助成
14	〃	H27.8	H27.8	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪830　さ 51-13	10,697	リース	
15	〃	H28.2	H28.2	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪800　そ 3-25	10,174	法人	日本財団助成
16	〃	H24.3	H24.3	スバル 軽貨物	大阪480　ち 54-84	5,803	法人	
17	〃	H29.3	H29.3	トヨタ　ノア ステーションワゴン	大阪503　も 91-17	11,147	法人	
18	摂津市立身体障害者・ 老人福祉センター	H28.7	H28.7	トヨタ　シエンタ 車椅子移動車	大阪503む 61-17	3,282	リース	
19	障害者職業能力開発センター せっつくすのき	H27.8	H27.8	日産　ラフェスタ ステーションワゴン	大阪302　ほ 60-87	4,862	リース	
20	摂津市障害者総合支援センター	H23.3	H23.3	スズキ　アルト 軽乗用車	大阪580　ま 4-15	9,295	法人	日本財団助成
21	〃	H26.8	H26.8	スズキ　スクーター 原付バイク	摂津市　A 33-75	1,634	法人	
22	〃	H26.8	H26.8	トヨタ　アクア 乗用車	大阪503　は 16-16	380	リース	R1.6.3 リース満了
	〃	R1.7	R1.7	トヨタ　アクア 乗用車	大阪504　せ 75-94	1,813	リース	

2　地域生活支援センター

Ⅰ　障害者支援施設「摂津市立みきの路」

1　施設入所支援・生活介護

（1）　概況

利用者の安全・安心を最優先に考え、利用者の尊厳を大切にしながら、心身ともに健康で生きがいのある生活が送れるように、個人のニーズを尊重して自立と社会参加ができるよう支援に努めた。①地域生活支援拠点等事業の推進、②日中活動の充実、③支援内容の充実と向上、④防災拠点としての整備、⑤大規模修繕計画の 5 つの重点課題を設定して取り組んだ。

特に、⑤の大規模修繕計画については、前年度に市障害福祉課に提出した大規模修繕計画をもとに、全館の給湯設備と空調設備の更新工事を実施するための設計予算が認められ、市建築課・設計事務所も加わる中で具体的な設計作業に着手した。工事に当たっては、できる限り、利用者の生活や活動に支障なく、安全かつスムーズに工事がすすむように打ち合わせ及び現地の確認作業を重ねてきた。また、建物本体の経年劣化を調査して、写真と説明付きの図面を報告書にまとめて市建築課に提出した。

②地域生活支援拠点等事業の推進については、みきの路職員が障がい者の地域生活について明確なイメージが持てるようにグループホーム見学を順次実施した。新たなオーダーリース型グループホームの開所に向けて、リーダー会議や全体会議の場を通じて情報共有を図りながら、ショートステイの増床や体験の場の確保等の事業課題について連携・協力しながら一体的に取り組んだ。

平成 30 年 6 月に発生した大阪府北部地震の教訓を生かすべく、「非常災害対策マニュアル」の見直しを図った。みきの路は福祉避難所に指定されており、法人全体の体制整備も含めて、パワーアップ会議リスクマネジメント検討部会にマニュアルを提出して、1 年をかけて検証作業に取り組んだ。併せて、防災拠点の整備として、福祉避難所規模で備蓄品や備品等購入を図り、防災拠点としての整備に努めた。

利用者の支援やサービスの向上として、直接支援に関わる全職員を対象に 2 度にわたる調査を実施し、利用者に対する身近な不適切事案を分析して「不適切な支援の洗い出し作業（報告書）」にまとめた。今年度新たな取り組みとしては、人権擁護委員と「ボッチャ」を通じて利用者との交流を図った。利用者と軽スポーツを楽しみながら懇談の場を設けて、障害者支援施設及び利用者の理解と啓発に努めた。また、今年度から通院同行費やおやつ代等の負担をお願いする一方、食費の自動引き落としを実現するために事務作業を進めてサービスの向上に努めた。

対外的な取り組みとして、大阪知的障害者福祉協会の北摂施設長会の幹事となり、北摂地区の障がい者施設の研修と懇親会を開催した。摂津市障害福祉課・法人事務局・法人施設の協力を得ながら、摂津市における障害福祉の状況と法人各施設の取り組みを発表する機会を持った。例年以上の参加者となり、情報交換とネットワーク作りにも繋がった。

（２）支援の状況　　【施設入所支援　・　生活介護（通所)】

■施設入所支援

利用者に、施設入所支援と、平日及び土曜、祝日の日中は生活介護を一体的に提供した。

サービスの提供に当たっては、利用者の安全に配慮しつつ、利用者の個人としての尊厳やニーズを尊重し、それぞれの障がい特性、心身の状態に応じて、ひとり一人の利用者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、様々な活動や生活支援を行った。

① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者のエンパワメントに着目しながらアセスメントを行い、利用者のニーズや家族のニーズを踏まえ、短期間で達成できるより具体的な目標を設定し、個別支援計画を作成し支援を行った。

② 生活支援

居室整理・清掃・洗濯・シーツ交換・布団干し・入浴準備等、生活に必要な支援を行い、清潔に配慮し、生活しやすい環境と住みやすい空間の提供に努めた。

また、利用者の身体の状態に応じた補装具を使用できるよう、補装具の工夫や取換えを行った。

③ 入浴

利用者が、心身ともにリラックスできるよう、週に４回入浴サービスを提供した。利用者の身体の状況に応じ、一般浴と機械浴を利用した。

④ 誕生会

月に１度、誕生月の利用者とともに、ケーキを食べながらお祝いした。

⑤ 理髪

月に１度、摂津理美容組合より１名と、同じく月に１度、美容師の方２名が施設内の部屋を活用し、利用者の理髪を行った。

⑥ 余暇活動

散歩・買い物・制作・カラオケ・ドライブ・スポーツ等、利用者が楽しくいきいきとした生活を営めるよう、利用者の希望に沿ったレクリエーション活動を行った。

⑦ 健康管理

利用者が、心身ともに安定した生活が営めるよう、看護師を中心に、日常的な健康管理を行った。また、定期通院や、突発的な体調の変化が見られた時は、医療機関を受診し、早期治療に努めた。

（ア） 診察

嘱託医、協力医等の来所による診察を受けた。

嘱託医（精神科）	毎月１回
嘱託医（内科）	毎月１回
精神科・内科医	隔週１回
歯科	毎週火曜日　女性、毎週金曜日　男性
精神科医	毎月２回
鍼灸師	毎週３回

（イ）健康診断　（医療機関：千里丘協立診療所・場所：１階社会適応訓練室）

実施日	内　容	受診人数
9 月 18 日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、尿検査、問診、胸部レントゲン、心電図	30
2 月 26 日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、問診	30

（ウ）インフルエンザ予防接種

嘱託医（内科）の往診時に、インフルエンザの予防接種を行った。

（エ）医療機関受診状況（延べ人数）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	13	13	14	13	14	14	14	16	14	11	11	14	161
神経内科	2	1	3	0	2	2	1	1	3	2	2	0	19
循環器内科	2	0	2	0	3	0	2	1	0	2	0	1	13
整形外科	0	1	0	0	0	0	0	0	3	2	2	0	8
歯科	88	91	95	112	102	100	101	97	90	97	68	97	1,138
精神科	19	19	18	29	15	26	25	24	26	25	28	19	273
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
皮膚科	7	5	3	1	0	0	0	0	0	0	3	5	24
肛門科	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
便秘専門外来	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
睡眠外来	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
眼科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

耳鼻科	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	5
ストーマ外来	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
消化器内科	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
婦人科	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	8
救急搬送	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
脳神経内科	0	0	1	3	0	0	1	1	0	0	0	0	6
心臓血管外科	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	5
合　計	139	138	143	163	142	149	152	147	141	147	121	143	1,725

■生活介護（通所）

利用者の個人の尊厳やニーズを尊重し、利用者の障がい特性や、心身の状態に応じて、生きがいや、やりがいを感じられる文化的活動や創作活動、身体能力の保持を目的とした身体運動、自立と社会参加を支援する社会適応訓練を提供した。また、給食サービス（昼食)、リフト付きワゴン車（３台）での送迎サービスを実施した。

① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画」をもとに、利用者のエンパワメントに着目し、住み慣れた地域で生活できるよう、利用者の心身の状態や障がい特性を把握し、利用者や家族のニーズを踏まえて、短期間で達成できるより具体的な目標を設定し、具体的な個別支援計画を作成し支援した。

② 活動

月案と日案を作成し、一日の流れにメリハリをつけ、活動内容の充実を図った。また、療育的活動にも着目し、利用者の障がい特性に応じた活動、支援に取り組んだ。

（ア）個別活動

個別支援計画をもとに、利用者の障がい特性やエンパワメントに着目した個別のプログラムを作成し、身体機能の維持、向上や集中力を高める活動を取り入れた。

（イ）制作

季節感を味わえるよう、季節に応じたガラス扉の制作、ロビー及び廊下の作品展示や飾り付けなどを行った。利用者の特性に応じ、塗る・貼る・切る等の工程を分担して行った。

（ウ）館内清掃

利用者の特性に応じ、役割を決めて施設内の清掃を実施した。

（エ）散歩・外気浴

身体機能の維持、気分転換、運動不足解消等を目的とし、施設周辺や町内、近隣の公園へ散歩に出掛けた。活動時間が少ない時は、施設前のベンチに座り、外気浴を実施した。

（オ）音楽療法

音やリズムを楽しみながら楽器に触れ、リズムに合わせて体を動かす等音楽を通して心身共にリラックスできるよう、音楽療法士のプログラムを提供した。

③ 入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対し、希望される方には、週に一度入浴サービスを提供した。また、利用者の身体状況に応じて、一般浴と機械浴を利用した。

④ 家族との連携

連絡ノートを利用し、利用中の様子を家族に伝えるとともに、自宅での様子を連絡ノートに記載してもらい、利用者の様子や連絡事項を家族と共有できるようにした。また、利用者の身体の状態を家族に伝え、補装具の調整や、必要なサービス内容の提供、家族からの相談に対するアドバイスを行った。

⑤ 健康管理

利用者の健康状態を把握するため、毎朝検温、血圧測定を行った。健康状態に変化が見られた時は、看護師に相談するとともに、家族に電話で状況を伝え、必要に応じて受診の必要性を説明した。

（ア）健康診断

病気の早期発見、治療を目的とし、普段病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ嘱託医による健康診断を実施した。

実施日	内　容	受診人数
9 月 18 日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、尿検査、問診、胸部レントゲン、心電図	5

（イ）インフルエンザ予防接種

病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ嘱託医によるインフルエンザの予防接種を実施した。

■合同活動

① グループ活動

施設入所支援、通所支援というフロアごとの日中活動ではなく、全利用者の日中活動の充実、夜間支援、日中支援の区別化、個々の障がい特性や心身の状態に応じた支援の提供を目的とし、グループ活動を毎週火曜日と木曜日の午後に実施した。

利用者のニーズや障がい特性に応じ、5つのグループに分かれ、それぞれのグループ担当支援員が、担当利用者の障がい特性等に応じた研修を受けながら、利用者のストレングスを維持・向上できるよう個々の支援を行った。

（ア） 活動内容

1班	リラックスできる空間を提供し、個々の身体特性に応じたストレッチや外気浴、散歩などを行った。ボールプールやエアートランポリン、スヌーズレンの用具などを活用して、より充実した内容になるよう取り組んだ。
2班	自閉的傾向のある方に対し、集中して取り組めるプットイン作業やパズルといった室内での活動に必要な用具を活用し、作業内容を充実させた。また、気分転換や体を動かしてエネルギーを発散できる散歩やドライブなどを行った。
3班	創作意欲や集中力を高め、達成感を味わえる制作、工作などの手先を使った活動やリズム体操、シャボン玉をしながらの外気浴等、身体機能の維持・向上や精神面の安定を図る活動を行った。
4班	天気の良い日には近隣の公園に散歩に出かけ、天気の悪い日は室内で体操やレクリエーションをしながら、運動不足の解消や体を動かして心身の健康の維持・向上を意識した活動を行った。
5班	花壇で花の栽培や室内で軽作業に取り組む等自立に向けた活動を行った。また、三中フェスタでは、地域の子ども達にバスボム(入浴剤)作りを教え、交流を図った。

（イ）おやつ作り

グループ活動班ごとに、栄養士と利用者でおやつを作り、午後のおやつの時間に提供した。利用者の希望や、障がい特性やニーズに応じ、おやつのメニューを決めた。

（ウ）音楽療法

利用者の心身の安定や潤いのある生活をめざし、音楽療法士が週に１～２度来所し、グループ活動班ごとに音楽療法を受けた。また、活動がない日は、各フロアで音楽療法を実施した。

（エ）ひびきはばたき園との交流

鳥飼体育館で風船バレーボールの練習等各行事に数名の利用者が参加し、利用者間の交流を図った。また、ドアツードアの送迎サービスの充実を図るため、合同での送迎を行った。

（オ）グループ外出

グループ活動班ごとにメンバーを決め、日帰りの外出を行った。

実施日	場　所	参加人数
5 月 28 日	いちご縁中川	4
6 月 27 日	京都水族館	3
7 月 9 日	ニフレル	4
8 月 21 日	アミティ舞洲	3
8 月 29 日	鶴見緑地プール	2
9 月 19 日	キューピー神戸工場見学	3
9 月 26 日	ワールド牧場	3
10 月 15 日	神戸王子動物園	3
11 月 21 日	ひらかたパーク	5
11 月 28 日	生駒山上遊園地	3
12 月 12 日	甲子園歴史館	4
2 月 4 日	UCC 六甲アイランド工場見学	3
3 月 5 日	〃　　（中止）	3

② 絵画教室

毎週木曜日に絵画の先生に来ていただき、意欲、感受性、創造力、創作力、表現力といった日頃の生活の中では見出しにくい力を引き出し、精神面の安定や新たなストレングスの発見を期待する活動を行った。パステル、絵の具、クレパス、ペン、色鉛筆などを使用して思いおもいの作品を作った。その作品は、12 月の人権教育啓発作品展や 2 月に開催された「つくっ展と輝けコンサート」の会場に展示した。また、みきの路の廊下に常時展示をした。

（３）定員及び利用状況（令和２年３月 31 日現在）

①　定員及び利用人数

（ア）　利用実人数

■施設入所支援　　定員 30 名（男性 16 名・女性 14 名）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
女	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	166
計	29	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	358

■生活介護（通所）　契約者数 14 名（定期利用 13 名・不定期利用 1 名）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
女	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156

（イ）利用延人数（通所）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	142	140	138	155	144	133	147	139	144	131	124	137	1,674
女	102	93	97	93	76	90	99	94	94	88	83	94	1,103
計	244	233	235	248	220	223	246	233	238	219	207	231	2,777
支援日数	21	20	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	242
平均人数	11.6	11.7	11.8	11.3	10.5	11.7	11.7	11.7	11.9	11.5	11.5	11.0	11.5

② 利用者の状況

（ア）年齢

■施設入所支援 （人）

	20 歳未満	20 歳以上 30 歳未満	30 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 50 歳未満	50 歳以上 60 歳未満	60 歳以上	合計
男	0	1	4	4	6	1	16
女	0	0	1	7	6	0	14
計	0	1	5	11	12	1	30

■生活介護（通所） （人）

	20 歳未満	20 歳以上 30 歳未満	30 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 50 歳未満	50 歳以上 60 歳未満	60 歳以上	合計
男	0	5	1	2	0	0	8
女	0	2	0	1	1	1	5
計	0	7	1	3	1	1	13

（イ）手帳の所時状況

■施設入所支援

【療育手帳】 （人）

	A	B 1	B 2	合計
男	16	0	0	16
女	13	1	0	14
計	29	1	0	30

【身体障害者手帳】 （人）

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	なし	合計
男	4	0	0	0	1	11	16
女	3	4	2	1	0	4	14
計	7	4	2	1	1	15	30

■生活介護（通所）

【療育手帳】 （人）

	A	B1	B2	なし	合計
男	8	0	0	0	8
女	5	0	0	0	5
計	13	0	0	0	13

【身体障害者手帳】 （人）

	1級	2級	3級	4級	5級	なし	合計
男	3	1	1	0	0	3	8
女	3	0	0	0	0	2	5
計	6	1	1	0	0	5	13

（ウ）障害支援区分

■施設入所支援 （人）

	区分6	区分5	区分4	合計
男	5	8	3	16
女	8	5	1	14
計	13	13	4	30

■生活介護（通所） （人）

	区分6	区分5	区分4	区分3	合計
男	4	4	0	0	8
女	3	0	2	0	5
計	7	4	2	0	13

（4）行事

① 施設行事

通年	グループ外出	施設入所支援 生活介護	
5月23日	音楽コンサート	合同	家族参加行事
7月14日	納涼会	施設入所支援 生活介護（希望者）	地域行事

10 月 8 日	運動会（室内）	合同	家族参加行事
11 月 5 日	摂津高校和太鼓コンサート	合同	
12 月 16 日	クリスマス会	合同	

② 地域行事

5 月 26 日	大阪府障がい者スポーツ大会 （フライングディスク）	施設入所支援
8 月 3 日	摂津まつり	
8 月 24 日	桜町自治会盆踊り	
11 月 10 日	三中フェスタ	
11 月 24 日	輪い輪い祭り	
12 月 8 日	風船バレーボール大会	

③ 法人行事

10 月 26 日	摂津宥和会運動会	天候不良のため中止
2 月 15 日	つくっ展と輝けコンサート 出展・見学	合同

（5）防災

① 災害時に備えるために、防災設備の点検を行った。

第 1 回目	11 月 1 日
第 2 回目	3 月 30 日、31 日

② 利用者参加のもと、避難訓練を 3 回実施した。

第 1 回目	6 月 14 日（火災、消火訓練）
第 2 回目	1 月 16 日（地震、火災、通報＋夜間想定）
第 3 回目	3 月 11 日（火災、通報訓練・消火訓練）

③ 摂津市消防本部による心肺蘇生法、ＡＥＤ使用法の講習を 8 月 16 日に受講した。

④ 摂津警察署による防犯訓練及び護身術の講習を 11 月 15 日に受講した。

（6）実習生の受け入れ

実習生として、大阪成蹊短期大学より 2 名を受け入れた。

（7）施設見学・交流

福祉関係団体からの依頼を受けて、施設利用者との交流を実施した。

9 月 3 日	摂津市人権擁護委員（ボッチャ）	9 人

（8）進路説明会

支援学校の進路説明会に参加して、在校生の家族に施設概要及び事業内容について説明を行った。

2 月 25 日	摂津支援学校
3 月 11 日	茨木支援学校（中止）

（9）職員研修

職員の専門性を高め、より質の高いサービスを提供するため、外部研修への参加及び施設に講師を招く等、職員研修を積極的に実施した。

実施日	研　修　名	場　所	主　催	職種
5 月 13 日	施設点検研修	摂津市役所	摂津市建築課	施設長
5 月 17 日	音楽療法講習会	摂津市立みきの路	摂津市立みきの路	支援員
5 月 28 日	第 1 回広報誌研修会（紙面・レイアウト）	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会、大阪福祉人材センター	〃
5 月 24 日	大規模災害時における福祉サービス事業所の事業継続計画について	ホテルアウィーナ大阪	大阪知的障害者福祉協会	施設長
6 月 5 日 26 日	スーパーバイザー養成基礎研修	大阪府社会福祉会館	〃	支援員
6 月 11 日	食中毒予防講習会	茨木保健所管内集団給食研究会	茨木市福祉文化会館	栄養士

6 月 12 日 13 日	サービスマナーセミナー （中級リーダークラス）	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会、大阪福祉人材センター	支援員
6 月 14 日 11 月 6 日	成人施設課程基礎コース	〃	〃	〃
7 月 2 日	保健師・看護師研修会	〃	〃	看護師
7 月 2 日	安全運転管理者等講習会	摂津市民文化ホール	大阪府	施設長
7 月 3 日 23 日 10 月 25 日	障がい者施設課程 （入所コース）	大阪府社会福祉会館、大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会、大阪福祉人材センター	支援員
8 月 9 日	障がい者等福祉従事者研修会（非常勤職員研修）	大阪社会福祉指導センター	〃	〃
9 月 25 日 10 月 7 日	大阪府強度行動障がい支援者養成研修 （基礎研修）	ドーンセンター たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談支援センター	〃
9 月 3 日 9 月 9 日	〃	〃	〃	〃
9 月 13 日	感染症研修	摂津市立みきの路	摂津市立みきの路	〃
10 月 3 日	指定管理者制度の運用実務研修	摂津市役所	摂津市役所人事課	施設長代理
11 月 6 日	大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修	ビッグ・アイ	大阪府	支援員
11 月 12 日 19 日 25 日	福祉職員研修 （チームリーダー）	大阪府社会福祉会館、大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会、大阪福祉人材センター	〃
11 月 14 日	災害から利用者を守る支援者のための防災研修	摂津市立 コミュニテイプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	施設長
11 月 18 日	集団指導者養成研修	大阪府社会福祉会館	大阪府社会福祉 協議会	支援員
11 月 19 日	感染症予防対策講習会	クレオ大阪	大阪府地域福祉 推進財団	〃
12 月 3 日	成人施設部会研修会	アートホテル ベイタワー	大阪府社会福祉 協議会	施設長

12 月 9 日 16 日	大阪府強度行動障がい支援者養成研修（実践研修）	たかつガーデン	大阪府立砂川厚生福祉センター	支援員
12 月 9 日 19 日	〃	〃	〃	〃
12 月 10 日 17 日	〃	〃	〃	〃
12 月 11 日	感染症予防研修会	摂津市役所	摂津市高齢介護課	支援員
1 月 9 日 1 月 10 日 1 月 30 日	福祉職員研修 （OJT リーダー養成）	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会、大阪福祉人材センター	〃
1 月 15 日	どうすれば真の福祉リーダーになれるか	大阪国際交流センター	大阪府知的障害者福祉協会、大阪府知的障害児者生活サポート協会	〃
3 月 13 日	虐待防止研修（延期）	摂津市立みきの路	摂津市立みきの路	〃

２　短期入所　　定員５名（男性３名・女性２名）

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方や、相談事業所が作成したサービス等利用計画に基づいて利用される方に対し、施設入所支援の日課に沿いながら、個別の支援を提供した。

（１）利用延人数

【成人】　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	76	88	77	85	75	72	70	81	106	106	98	80	1,014
女	34	45	44	43	20	29	35	35	37	33	35	33	423
計	110	133	121	128	95	101	105	116	143	139	133	113	1,437

【児童】　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	2	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8
計	2	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8

３　日中一時支援事業

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方に対し、日帰りでのサービスを提供した。

（１）　利用延人数

【成人】　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	51	46	43	47	29	41	38	36	39	34	34	42	480
女	1	1	0	1	2	1	1	1	0	1	0	2	11
計	52	47	43	48	31	42	39	37	39	35	34	44	491

【児童】　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

４　緊急一時保護

平成 24 年 10 月に障害者虐待防止法が施行されたことに伴い、令和元年度も摂津市と「緊急一時保護等のための居室の確保（１床)」の覚書を締結した。

５　新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、みきの路でも国内での感染が報告されると、摂津市や大阪知的障害者福祉協会を通じて情報収集を図りながら、施設内に感染を持ち込まないように感染防止に努めた。初期の段階から、通常実施している感染症予防対策「こまめな手洗い・手指消毒・咳エチケット・健康の維持と管理」の徹底を図りながら、各所の消毒や部屋のこまめな換気等に取り組んだ。学校の臨時休校実施に伴い、職員及び利用者の検温、面会・外出（外泊）の自粛文書の配布、通所前の検温と体調チェック、フロア間の移動及び来所者の制限等家族や関係者の理解と協力を得ながら感染防止対策を進めた。3 月後半には、電解水による館内消毒の徹底、活動や会議における「3 密」の回避等さらに厳しい対策を取った。

Ⅱ　共同生活援助　（グループホーム）

（１）概況

地域生活支援拠点等事業を具現化する為に、引き続き地域生活支援拠点等事業のコーディネーターを管理者が兼務し、地域福祉の拠点となれるように努めた。摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会及び地域移行部会への参加、大阪府社会福祉協議会と連携した社会貢献事業にも積極的に参加し、地域課題や実情の把握に努め、整備に必要な重点課題を抽出しながら、関係機関との連携強化に努めた。相談支援部会内のワーキングにも参加し、地域で暮らす障害者に対する災害時の対応策や、避難所などに求める配慮をまとめ、摂津市障害福祉課及び防災管財課への提言を行った。

重度障害者が利用出来るオーダーリース型グループホームについては鳥飼上にグループホーム 10 床、短期入所 5 床の 2 階建ての建物を計画し、設計図面の打ち合わせも最終段階に入った。令和 3 年 4 月の開所を予定し、大阪府生活基盤推進課に対しては、設計図面案と指定に係るタイムスケジュールの調整を行った。短期入所機能を併設させる事で、拠点等整備に必要な重点項目である「緊急時の受け入れ」「体験利用の場の確保」を円滑に実施出来るように検討を重ねている。

世話人全体会議については月 1 回の定例開催を継続した。今年度も外部研修に参加する機会を増やし、勉強会や伝達研修での支援スキルや知識の向上、法制度の周知を図った。世話人の仕事に対する意識向上や人材確保を目的に処遇改善加算の申請を行い、働きやすい職場環境の維持に努めた。

新規利用者の見学や体験利用の受入を行うとともに、入居者に対して共同して生活を営む事を通じて、個人の能力を生かしながら、地域社会との接点を持つ事が出来るように支援を行った。また、障害のある人も地域で当たり前に暮らす共生社会づくりを目指して、取り組みを行った。高齢化する利用者の生活の質を維持する為に、高齢者施設との連携を取り、高齢者施設の体験利用の機会を提供した。

結果として、本人と家族の意向に沿い、1 名の利用者の住まいの場をグループホームから高齢者入所施設に移行した。

地域生活支援センターの取り組みとして、地域移行プロジェクトを発足させた。グループホームのサービス管理責任者が中心となり、地域生活の実情や地域移行に必要な支援の組み立てなどを入所施設の職員と情報を共有しながら、グループホームの見学会などを実施した。

（２）定員及び利用状況（延べ利用者数）

◎サルビア（利用定員 10 名　女性）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	262	266	279	297	290	290	299	289	295	268	250	270	3,356
体験利用	8	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
1 日平均	9.0	8.8	9.4	9.5	9.3	9.6	9.6	9.6	9.5	8.6	8.6	8.7	9.2

◎ガーベラ（利用定員 5 名　女性）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	116	124	1,464
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 日平均	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

◎オリーブ（利用定員 5 名　女性）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	137	138	140	147	132	137	142	141	137	136	135	146	1,668
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 日平均	4.5	4.4	4.6	4.7	4.2	4.5	4.5	4.7	4.4	4.3	4.6	4.7	4.5

◎コスモス（利用定員 4 名　男性）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	115	110	120	122	120	116	120	117	122	124	115	121	1,422
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 日平均	3.8	3.5	4.0	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	3.8

◎サクラ（利用定員男性 4 名　女性 2 名）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	171	169	172	171	162	161	171	167	148	143	145	179	1,959
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 日平均	5.7	5.4	5.7	5.5	5.2	5.3	5.5	5.5	4.7	4.6	5.0	5.7	5.3

（３）入居者の状況（令和２年３月 31 日現在）　　（単位：人）

◎サルビア

■年齢構成

20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	合計
2	2	2	2	1	9

■障害支援区分

区分２	区分３	区分４	区分５
1	2	4	2

■手帳所持状況

療育手帳Ａ	療育手帳Ｂ１
7	2

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援Ｂ型
7	2

◎ガーベラ

■年齢構成

40 代	50 代	60 代	合計
1	2	1	4

■障害支援区分

区分３	区分４
1	3

■手帳所持状況

療育手帳Ａ	療育手帳Ｂ１	精神保健福祉手帳２級
1	2	1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援Ｂ型
3	1

◎オリーブ

■年齢構成

20 代	40 代	50 代
3	1	1

■障害支援区分

区分１	区分２	区分３	区分４
1	2	1	1

■手帳所持状況

療育手帳Ｂ１	療育手帳Ｂ２
2	3

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援Ｂ型	就労
1	1	3

◎コスモス

■年齢構成

20 代	40 代	50 代
2	1	1

■障害支援区分

区分２	区分３	区分５
1	2	1

■手帳所持状況

療育手帳Ａ	療育手帳Ｂ２
1	3

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援Ｂ型	就労
1	1	2

◎サクラ

■年齢構成

20 代	40 代	50 代	60 代
2	2	1	1

■障害支援区分

区分３	区分４
5	1

■手帳所持状況

療育手帳Ａ	療育手帳Ｂ２	精神保健福祉手帳２級	身体障害者手帳２級
2	2	1	1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援Ｂ型	就労
1	4	1

（４）支援の状況

入居者には、平日の夜間及び土日祝日、年末年始はホームで暮らすという事で、個々に必要なサービスを提供した。支援にあたっては、家庭的な雰囲気を最優先に考え、日常生活において個々のニーズに合わせて自立と社会参加が出来るように、日常生活上の配慮を重点に置いて支援を行った。昼間の活動は生活介護等、日中活動の場を利用して、土日祝日に関しては、移動支援を利用するなど、余暇活動の充実を図った。

また、就労している入居者からの相談が増えた事に伴い、茨木・摂津障害者就業・生活支援センターとの連携を深め、会社訪問の機会も設定した。転職を希望された利用者には面談の時間を多く設けて、今後の見通しや将来のビジョンを丁寧に聞き取りながら支援を行った。

食事提供には、加齢と重度化により誤嚥防止に対する対応を強化し、しっかりとよく噛み、味わって食するように声を掛け、場合によっては刻み食対応やお粥の提供など、利用者の障害特性の変化に柔軟に対応すべく、主治医との意見交換も積極的に行った。

家族の高齢化が顕著で、帰宅できない利用者は年々増えている。ゴールデンウィーク、お盆、正月などの長期の休日については、日中活動の場も休みである事から、各ホームにおいては季節に応じたイベントを行ったり、季節感を感じる事の出来る食事やデザートを提供するなど、楽しみの提供を積極的に行った。

（５）個別支援計画

入居者それぞれの多様なニーズに対応するために、６ヶ月に１回、アセスメントを行い、個別支援計画書を作成し、個々のニーズに合わせたサービス・支援を提供した。

相談支援事業所の作成するサービス等利用計画とも整合性を持たせ、サービス担当者会議で入居者の生活状況を情報共有し、個別支援計画に反映させた。

みきの路入所利用者の地域移行を目指した個別支援会議にサービス管理責任者が入り、グループホームで必要となる生活スキルや支援方針の情報共有を行い、個別支援計画書の作成のサポートに当たった。

（６）健康管理

日常より、世話人がバイタルチェックや入居者の様子等の把握に努めた。サービス管理責任者への申し送りや、状況に応じての定期受診、その他必要に応じて臨時受診を行った。健康診断についてはそれぞれの日中活動の事業所での受診に併せ、その他の検診（各種がん検診）や歯科検診に同行した。その結果を各主治医に提出し、健康状態の把握に努めた。定期通院で配慮のいる方については、通院同行を行った。必要に応じて通院等介助の利用で対応した。一人で通院される入居者については、主治医と書面や電話での情報交換を行った。昨年度と比較し、歯科通院の件数が減った。定期検診の際にも歯科医師より、磨き残しも少なくなっていると言われている。

服薬が不十分な方に対して、誤薬等が無いように世話人で管理をして、声掛けや手渡しを行い、服薬管理に努めた。服薬ミスが無いように、世話人は声出し確認、配薬チェック表の利用、口腔内の残薬確認の徹底を行った。

生活習慣病の予防と悪化防止の目的で、全ホーム統一した栄養管理の徹底を継続する為に、NPO 法人摂津市サポートビューローに委託した配食サービスを継続した。

重度高齢化の進むサルビアにはＡＥＤを設置し、心肺蘇生法の講習会を所管の消防署に講師を依頼し実施した。玄関前にＡＥＤ設置のステッカーを貼り、近隣住民からの要請に貸し出しを行う取り組みを行い、社会貢献、地域貢献の意識を高めた。

■医療機関受診・往診状況

◎サルビア　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	4	5	3	3	5	5	10	4	3	3	3	52
外科	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
整形外科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
精神科	3	2	2	3	2	2	2	2	2	3	2	3	28
婦人科	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5
眼科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

耳鼻科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
皮膚科	0	0	0	0	1	1	1	1	5	0	0	1	10
歯科	3	5	5	0	4	5	5	4	2	2	5	3	43
訪問看護	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合　計	14	15	20	17	16	17	17	22	18	12	15	15	198

◎ガーベラ　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	3	2	1	5	1	3	1	3	2	2	3	2	28
整形外科	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
精神科	1	1	0	2	1	1	1	1	1	1	0	1	11
眼科	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	4
皮膚科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
歯科	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	6
訪問看護	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
訪問リハ	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
合　計	19	16	13	21	15	17	15	20	16	17	15	17	201

◎オリーブ　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1	0	1	1	1	2	0	3	4	0	0	1	14
精神科	0	2	2	1	1	2	1	3	2	2	1	2	19
眼科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
脳神経内科	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	4
乳腺外来	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
歯科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合　計	2	3	3	2	3	5	1	9	7	2	1	5	43

◎コスモス　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1	1	2	1	1	1	1	2	0	2	1	1	14
精神科	1	1	0	2	1	1	1	1	1	1	0	1	11
合　計	2	2	2	3	2	2	2	3	1	3	1	2	25

◎サクラ　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	3	1	3	2	3	2	5	4	4	2	4	6	39
整形外科	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3
精神科	0	1	1	1	1	0	1	1	1	2	2	2	13
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
神経内科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
歯科	0	0	2	0	0	0	2	4	4	2	3	4	21
合　計	4	2	7	4	4	2	9	9	9	6	9	16	81

（7）日中活動

日中活動の事業所とは必要に応じて連携を取り、入居者の状況や支援の方向性での情報共有をした。相談支援事業所や医療機関、ヘルパー事業所とも連携し、定期的及び必要に応じ随時、ケース会議を開催した。

新規入居者・体験利用者に対しては、サービス担当者会議の頻度を増やして、緊密な連携体制を構築した。

（8）レクリエーション・行事

初詣や誕生日会、クリスマス会を開催し、コミュニケーションを図った。

地域の催しとして 5 月のこどもフェスティバル、8 月の摂津まつり、11 月の輪い輪い祭りと三中フェスタ、12 月の風船バレーボール大会にそれぞれ参加した。

その他、各公民館やコミュニティーセンターで開催されるイベントには利用者の希望に沿って可能な限り参加した。

2 月に開催されたつくっ展と輝けコンサートには日頃の創作活動での作品を展示し、創作意欲の向上を図った。

また、大阪府障がい者スポーツ大会にも参加し、他事業所の方々との交流を図った。

（９）災害防止・防犯対策

各ホームに災害時の避難場所とハザードマップを活用した危険個所、災害時の連絡方法を記載した書類を目に付く場所に掲示し、有事の際に円滑に確認出来るように配慮した。

摂津市自立支援協議会相談支援部会の災害時対応検討ワーキングに参加し、居住系サービス、通所系サービスの災害時対応マニュアルのひな型作りや、市内の全障害者を対象にした個別避難計画書の作成を行った。摂津市防災管財課の出前講座を利用した、摂津市自立支援協議会主催の研修会を企画し、摂津市における防災施策の理解を深め、地域防災計画を知るための研修会を行った。

摂津警察署と連携し防犯訓練への参加とホーム周辺の巡回を依頼し防犯対策を講じた。

夜間支援を行い、夜間の見守りや排泄介助等の個別支援、緊急時の迅速な対応に備えた。

災害時の安否確認や迅速な情報伝達の手段として、セコム安否確認サービスを導入した。利用可能な端末を所持している世話人には登録を完了させ、試験メールでの安否確認訓練も実施した。

（１０）職員研修等

今年度も数多くの外部研修に職員を派遣し、地域福祉や、高齢期の障がい者支援や地域共生社会の実現に向けた知識や理解を深める研修等、共同生活援助を取り巻く環境を広義的な目線で理解し、知識を深める事に重点を置いた。

各研修で得た知識や情報は、世話人会議等での伝達研修を行った。

◎研修会・会議・部会等

実施月日	研 修 名	場 所	主 催	参加者
5 月 17 日	音楽療法勉強会	摂津市立みきの路	摂津市立みきの路	管理者 サビ管
6 月 3 日 8 月 1 日	障がい等福祉従事者研修 （世話人研修会）	大阪社会福祉 指導センター	大阪府社会福祉 協議会	世話人
8 月 29 日 8 月 30 日	グループホーム等研修会 全国大会 in 千葉	アパホテル＆　リゾート 東京ベイ幕張	日本知的障害者 福祉協会	管理者
9 月 12 日	共生・福祉のまちづくり （ソーシャルインクルージョン）　研修会	大阪府社会 福祉会館	福祉と人権の研修ネットワークおおさか	管理者
9 月 13 日	感染対策の 基本知識と技術	摂津市立みきの路	摂津市立みきの路	管理者 サビ管 支援員

10 月 8 日	大阪しあわせネットワーク三島ブロック相談援助技術研修会	摂津市立コミュニティプラザ	大阪府社会福祉協議会	管理者
11 月 1 日	職場のハラスメントを考える	摂津市立みきの路	摂津宥和会	管理者 サビ管
11 月 14 日	要配慮者施設における防災	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	管理者
11 月 14 日	大阪知的障害者福祉協会地域支援部会	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	サビ管
11 月 25 日 11 月 26 日	近畿地区知的障害関係施設長会議	ホテルアウィーナ大阪	近畿地区知的障害者施設協会	管理者
12 月 11 日	感染症予防研修会	摂津市役所	摂津市	支援員
1 月 15 日 1 月 16 日	グループホーム世話人等研修会	大阪府障がい者自立センター	大阪府	世話人
1 月 17 日	大阪知的障害者福祉協会地域支援部会	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	サビ管
1 月 31 日	社会福祉法人による地域貢献事業実践報告会	あべのハルカス貸し会議室	大阪府社会福祉協議会	管理者
2 月 6 日	近畿地区知的障害者施設協会グループホーム等職員研修会 in 大阪	ホテルアウィーナ大阪	近畿地区知的障害者施設協会	サビ管
2 月 7 日	北摂施設長会議	摂津市コミュニティプラザ	大阪知的障害者福祉協会	管理者 サビ管
2 月 17 日	発達障害研修会	摂津市コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	サビ管
2 月 18 日	摂津市社会福祉施設地域貢献委員会実務担当者情報交流会	摂津市立地域福祉活動支援センター	摂津市社会福祉施設地域貢献委員会	管理者

◎摂津市内グループホーム連絡会

実施月日	場　所	参加者
5 月 14 日	バクかふぇ	サビ管
7 月 16 日	さわらぎさつきはうす	サビ管
9 月 10 日	さわらぎさつきはうす	サビ管
12 月 3 日	さわらぎさつきはうす	管理者

◎ホーム別世話人会議

実施月日	ホーム名	場所	人数
5 月 16 日	サルビア	みきの路	8 人
6 月 20 日	サクラ	みきの路	8 人
1 月 31 日	サルビア	サルビア	14 人
2 月 20 日	サクラ	みきの路	9 人

◎世話人全体会議　伝達研修

実施月日	開催場所	参加人数
4 月 4 日	みきの路	17 人
5 月 16 日	みきの路	18 人
6 月 20 日	みきの路	22 人
7 月 18 日	みきの路	17 人
8 月 22 日	みきの路	11 人
9 月 26 日	みきの路	13 人
10 月 17 日	みきの路	16 人
11 月 21 日	みきの路	23 人
12 月 12 日	みきの路	19 人
1 月 16 日	みきの路	17 人
2 月 20 日	みきの路	21 人
3 月 19 日	みきの路	17 人

（１１）各種会議

◎摂津市自立支援協議会相談支援部会

実施月日	開催場所	参加者
毎月第２水曜日	摂津市障害者総合支援センター	管理者

◎摂津市自立支援協議会相談支援部会 災害時対応検討ワーキング

実施月日	開催場所	参加者
基本月１回	摂津市障害者総合支援センター	管理者

◎摂津市自立支援協議会地域移行部会

実施月日	開催場所	参加者
6 月 18 日	摂津市障害者総合支援センター	管理者
2 月 25 日	摂津市障害者総合支援センター	管理者

◎北摂施設長会

実施月日	開催場所	参加者
2月7日	摂津市立コミュニティプラザ	管理者 サビ管

（１２）社会貢献事業

◎大阪しあわせネットワーク支援状況（2件）

①立ち退き勧告を受け、転居先を探すが保証人の確保と引っ越し費用が捻出できない精神障がい者（精神障害者保健福祉手帳２級）の引っ越し支援。

実施月日	支援概要	担当者・開催場所・訪問先	対応者
4月23日	初回相談受付	相談支援あしすと	管理者
4月30日	サービス担当者会議	とりかい白鷺園 （住宅確保要配慮者居住支援法人）	管理者
5月9日	情報交換・共有	あしすと相談員（電話）	管理者
5月14日	初回面談	自宅	管理者
5月17日	情報交換・共有 社会貢献基金申請	あしすと相談員（電話）	管理者
6月12日	サービス担当者会議	あしすと相談員	管理者
6月13日	情報交換・共有	あしすと相談員・社会貢献支援員 （電話）	管理者
7月10日	サービス担当者会議	あしすと相談員	管理者
7月25日	情報交換・共有	とりかい白鷺園園長・あしすと相談員 （電話）	管理者
8月14日	サービス担当者会議	あしすと相談員	管理者
9月3日	情報交換・共有	あしすと相談員（電話）	管理者
9月9日	情報交換・共有	あしすと相談員（電話）	管理者
9月11日	サービス担当者会議	あしすと相談員	管理者
9月27日	情報交換・共有	あしすと相談員（電話）	管理者
10月9日	サービス担当者会議	あしすと相談員	管理者
10月21日	引っ越し	あしすと相談員	管理者

②妻と離婚協議中の無職の精神障がい者（精神障害者保健福祉手帳２級）の引っ越し支援。
妻の収入で生活しており、引っ越し費用と生活費の捻出、安定した通院の支援。

実施月日	支援概要	担当者・開催場所・訪問先	対応者
8 月 21 日	初回相談受付・面談	自宅	管理者
8 月 22 日	情報交換・共有	摂津市役所生活支援課 （生活困窮者自立相談支援事業）	管理者
9 月 3 日	サービス担当者会議	摂津市役所	管理者
9 月 10 日	情報交換・共有	みきの路	管理者
9 月 20 日	サービス担当者会議 支援終結確認	摂津市役所	管理者

◎こども食堂

パワーアップ事業にサービス管理責任者が参加し、こどもの孤食対応や居場所作り等に対応するためにこども食堂の運営に携わった。摂津市立別府コミュニティセンターで毎月行われるこども食堂にはサービス管理責任者は受付担当、遊びや学習の見守りとして参加し、グループホームの支援員は調理担当で参加した。

また、遊びの提供と見守りの対応にはグループホームの世話人も参加し、多世代交流の役割も担った。

（１３）新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大阪府及び摂津市の通知にならい、3 月中の外出（外泊）と面会の自粛を利用者と家族に通知した。

障害特性上及びやむを得ない理由で外出（外泊）を希望される利用者と家族の個別の相談には応じ、家庭での予防の徹底をお願いした。

通所、通勤などで外出する際にはマスク着用の徹底を促し、公共交通機関を利用して通勤する利用者には携帯用手指消毒剤を提供し、予防の意識を持つように促しを行った。

手指消毒剤は全ホームの玄関にも設置し、帰所時の手指消毒の徹底とうがいの励行を促し、世話人によるホーム内の共用部分の消毒も徹底した。

職員にも出勤前に自宅での検温を義務付け、37.5℃以上の場合は出勤不可、37.5℃未満の場合は施設長へ報告の上、出勤の判断を求めるように通知した。

利用者にも朝・夕最低 2 回の検温を実施し、通常よりも手厚く体調管理を行った。

3　摂津市立児童発達支援センター

Ⅰ　児童発達支援センター「つくし園」

（１）概況

つくし園は、児童発達支援センターとして、発達に課題のある子どもたちを対象に障がい特性へのきめ細かい配慮を行う『障害児相談支援』、保育所・幼稚園・学校等を訪問し、発達に課題のある乳幼児、児童に対し集団生活への適応のための専門的な支援や教職員に対するアドバイス、その他の必要な支援を行う『保育所等訪問支援』、そして通園を中心とした『児童発達支援』の三つで児童発達支援センターの指定要件であるすべての事業を行っている。

障がい種別を問わない就学前の乳幼児の心身共に豊かな発達を育む環境を整えることを主眼に置いた療育、保育を行った。また、個々様々な発達の課題を有している子どもの保護者に対して子育て支援・家族支援を行いともに子育てをする関係作りに力を注いだ。

進路指導に関しては全利用児を対象にクラス面談及び個別面談を行い、就学を迎える５名については、市教育委員会に園の進路指導に関する取組みの理解を得て、対象校区の小学校及び摂津支援学校で保護者見学の機会を設け、対象児の体験入学等を実施し進路決定に繋げた。

平成３０年度から摂津市内の「障害児相談支援」については、発達に課題のある子どもたちを対象に児童期における障がい特性へのきめ細かい配慮を行い、最適な福祉サービスが利用できるように当センターで実施している障害児相談支援へ一本化した。利用児や保護者に負担をかけず不安のないように、障害者総合相談支援センター内のつくし分室での相談等を行い年間 1,595 件の相談に対応した。

（２）療育の状況

発達に課題がある児童について障がいの特性や個々の発達段階に応じて集団や個別で療育を行った。

① クラス編成は単独通園２クラスと母子通園１クラスとし、年齢、発達状況、母子関係を考慮した個別プログラムを立て療育を行った。母子クラスでは単独クラスへの移行の見通しを母子ともに持ちやすいよう、母子分離の機会を設けたり、登園日数を変更する等し、スムーズな移行につなげるなど状況に応じたきめ細かな取組みを行った。

② 食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣の習得に向け、個々に応じた援助を行い習慣化に向けて取り組んだ。その中で生活リズムを整えるように援助した。

③ 遊びや様々な行事を通して人との関係性を育むとともに、その中で自己を表現し発揮できるよう配慮を行い、心豊かに過ごすことが出来るよう環境を整える工夫を行った。また全員で同じ遊びに取り組む設定保育では、個々の発達状況、興味関心により課題別

にグループ編成をするなどし、就学予定児への訓練プログラムも実施した。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士と連携を図り日々の保育を行った。

④ 行事　（人）

実施日	行事名	場　所	参加者（人）	内　容
4月4日	保育説明会	園　内	園　児　21 保護者等　21	保護者に通園における諸規則、注意事項を説明した。
5月12日	日曜参観	〃	園　児　20 保護者等　39	保護者（特に父親）が療育内容と子どもの様子を知り理解を深める機会とした。
7月5日	七夕まつり	〃	園　児　23 保護者等　9	季節の行事として経験の拡大を図った。
7月26日	夕涼み会	〃	園　児　22 保護者等　30 卒園生と その保護者　71	児童発達支援センターの利用対象児、ＯＢ・ＯＧ、保護者、職員の交流を行った。
10月 4日	遠　足 （母子ｸﾗｽ）	佐井寺 南が丘公園	園　児　8 保護者等　9	母子通園クラスの在籍園児の集団としての活動で、親子で楽しんだ。
10月9日	遠　足 （単独ｸﾗｽ）	摂津市立 三島公園	園　児　7	単独通園クラスの在籍園児の集団としての活動を楽しみ、経験拡大を図った。
10月11日		万博自然 文化園	園　児　9	
11月2日	運動会	鳥飼 体育館	園　児　28 保護者等　238	保育の運動面の取り組みについて保護者と成長や課題を確認する機会とした。
12月13日	クリスマス会	園　内	園　児　27 保護者等　35	保護者と一緒にクリスマス会を楽しんだ。
2月16日	生活発表会	〃	園　児　28 保護者等　79	一年の総まとめとして子どもたちの発達を保護者と確認し成長の糧とした。
3月11 日	お楽しみ会 （単独ｸﾗｽ）	園　内	コロナウィルス感染症の感染拡大を防ぐため中止	
3月19日	卒園式 修了式	〃	園　児　29 保護者等　45	卒退園・一年の修了を祝った。

行事については・通常の保育形態で実施する行事　・季節の行事　・保護者と協力して実施する行事　・家族参加の行事に分類される。

園児個々の発達段階を考慮して、クラスごと、あるいは全体での行事として内容を検討し実施した。

園児が安全に楽しめ、力を発揮できる環境を整えるため、職員ボランティア、卒修了児の保護者ボランティアなどの協力を得て個々の園児にスポットが当たる行事とすることができた。

⑤ 家庭との連携

園と家庭との連携のため、行事の参加はもとより以下の取組みを実施し、園児の発達に共通の認識を持ち正しく園児を理解できるよう努めてきた。

項　目	実施内容
家庭訪問	園児の生活基盤である家庭の状況を把握するため入園後に実施した。また個々の家庭状況等により必要に応じて実施した。
個別面談	各担当者が母親との信頼関係を築きながら、生活習慣と発達の援助について園と家庭での様子に関する情報交換を行い、課題に取り組んだ。主に進路のことについては精神面の援助やアドバイスを行い自己決定できるように寄り添った。(年４回、その他随時)
クラス面談	各クラスの状況に応じた取組みや課題設定についての説明を行った。保護者がクラスの中で他の保護者の意見を聞き、また自分の意見を言えるようになり、互いに協力しあってより子どもに向き合っていけるような機会とした。　(毎月１回)
３者面談	進路の決定や家族の障がい受容に向けて、必要に応じて父親も参加しやすい日曜日に面談を実施した。　(随時)
合同親子保育	全園児、全保護者を対象とした取組みを行った。２クラス合同で行うことによりクラス間の交流、全体としてのまとまりをねらいとして実施した。午後は、母親教室を実施することが多かった。　(月１回)
単独クラス親子保育	単独通園クラスの保護者を対象とした取組みを行った。親子で登園し子どもを見ながら園と家庭との様子の違いなどの情報交換・園と家庭の役割・協力体制を整えることを目的として実施した。　(月１回)
保育参観	年間計画としての参観は、給食参観・日曜参観・生活発表会の事前練習参観を実施した。また、保護者が園での子どもの状態を把握する目的での参観は、保護者の希望により随時受け入れを行った。
連絡ノート	日々の園と家庭での子どもの生活状況（食事・睡眠・健康状態）などの伝達の手段として活用した。また、保護者の育児に対する考え・姿勢・悩みを把握し、園の取組みに対する理解につなげるとともに、子育てに対すアドバイスを行った　(毎日)
園だより	近況紹介、新入園児の紹介、月間予定、給食だより（献立表） 連絡事項などの内容で保護者、関係機関に配布した。(毎月)

＊母親教室

園児の発達に関する学習や講習による技術習得をすることにより、保護者の負担を軽減し、精神的なゆとりを持つ事が子育てにとって何より重要であると考え、年５回児童発達支援センター職員である訓練士、心理士等より講話を行った。

⑥ 進路指導

子どもの発達にとって望ましい環境を提供し、スムーズな移行と適応を図るための取組みとして、就学児については進路説明会を行い、教育委員会を窓口に、対象校（地域小学校と支援学校）の見学と体験入学の打ち合わせを行った。

また、学校に当園が考える体験入学の主旨や、園児の状況等を伝え、理解を深めた上で、体験入学を実施した。そして保護者が進路について充分な理解と検討を行った上で、教育支援会議を迎えるという手順を踏んだ。就園（幼稚園、保育所）についても進路説明会を行い、進路先に対する理解を促し、必要に応じ体験入園や一日保育を行った。

（保護者懇談会）　（人）

実施日	内　容	保護者
4 月 12 日	就学児進路説明会	2
6 月 14 日	幼保進路説明会（年中）	8
6 月 28 日	幼保進路説明会（年少）	10

※就学児 4 名は個別で実施

（小学校・支援学校小学部）　（人）

実施日	対象機関	内　容	対象児
5 月 10 日	摂津市立鳥飼西小学校	取組説明	2
5 月 14 日	摂津市立味生小学校	取組説明	1
5 月 20 日	摂津市立摂津小学校	取組説明	2
5 月 27 日	摂津市立千里丘小学校	取組説明	2
5 月 28 日	摂津市立味生小学校	見学会	1
5 月 30 日	摂津市立摂津小学校	見学会	4
6 月 13 日	摂津市立千里丘小学校	見学会	1
6 月 24 日	大阪府立摂津支援学校	見学	5
7 月 5 日	摂津市　教育相談	相談	5
9 月 27 日	大阪府立摂津支援学校小学部	体験入学	5
10 月 2 日	摂津市立摂津小学校	体験入学	2

10 月 3 日	摂津市立千里丘小学校	体験入学	1
10 月 7 日	摂津市立味生小学校	体験入学	1
10 月 8 日	摂津市立鳥飼西小学校	体験入学	2
10 月 16 日	摂津市立摂津小学校	体験入学	4
11 月 7 日	摂津市　教育支援会議	検討会議	5

（幼稚園・保育所）　（人）

実施日	対象機関	内　容	対象児
2 月 15 日	私立　摂津さつき保育園	一日保育	1

（３）健康管理

園児の健康状態の把握には常に家庭と連絡をとり、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め、助言、指導を受け療育に活かしてきた。特に衛生状態には細心の注意を払い対応した。日々の取組みとしては、戸外遊びなどを多く取り入れ、身体づくりを行うとともに歯磨き指導や給食時における食事指導による健康づくりを実施してきた。

５月より園庭に日除けネット、ミストシャワー等を設置し、快適な園生活を過ごすことが出来るよう努めた。また、健康診断は次のとおり実施した。

①内科医健診

健 診 日	6 月 3 日、11 月 25 日

②その他健診、検査

健 診 日	内　容
5 月 16 日	尿 検 査
5 月 24 日	歯科健診
6 月 20 日	耳鼻科健診

（４）給食調理

園児の心身の健全な発育、発達、健康の維持増進、体力の向上を図るため質・量ともに適切な食事を提供することに努め、園児及び園生活の現況に即した給食提供を行った。給食業務をウオクニ株式会社に業務委託を行い、大量調理マニュアルに沿った衛生管理の充実にも努め、月１回の同社の調理員・営業と施設側の施設長・保育士・児童指導員・栄養士で給食会議を実施した。また給食会議とは別に、調理員と施設側の保育士・児童指導員の会議も月１回実施し、喫食状況の把握、園児の状況に配慮し調理形態を工夫した給食提供をした。

家庭との連携のため月１回給食だより・献立表の配布を行った。

（５）通園児の状況

① 通園状況（延べ人数）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
母子クラス園児数	91	101	125	120	97	75	115	109	103	104	98	106	1,244
単独クラス園児数	193	221	249	273	230	307	343	360	330	303	309	334	3,452
園児数計	284	322	374	393	327	382	458	469	433	407	407	440	4,696

② 年齢別　（人）

年齢	３才	４才	５才	６才	合計
男	2	8	7	4	21
女	2	3	3	2	10
計	4	11	10	6	31

③ 障がいの状況（原疾患・合併症・診断名）　（人）

区分	発達遅滞	染色体異常	自閉症スペクトラム障害
男	8	1	5
女	3	0	2
計	11	1	7

④ 療育手帳の所持　（人）

区分	A	B１	B２	所持無	合計
男	8	0	7	7	22
女	1	2	0	6	9
計	9	2	7	13	31

⑤ 身障手帳の所持　（人）

区分	１級	２級	合計
男	0	0	0
女	0	0	0
計	0	0	0

⑥ 進路の状況　（人）

区分	保育所	幼稚園	支援学校	地域小学校	合計
男	1	6	4	0	11
女	0	2	1	1	4
計	1	8	5	1	15

（６）障害児相談支援

児童発達支援センターの地域支援の一つに位置づけられ、子どもたちの抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行った。

① 利用状況　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	46	23	8	31	21	18	19	31	16	23	16	15	267
身体障がい	3	1	1	5	4	2	3	1	2	4	2	3	31
重症心身障がい	8	3	3	8	5	7	9	9	9	9	10	9	89
精神障がい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
知的障がい	17	17	11	19	14	19	21	26	17	18	21	19	219
発達障がい	13	12	7	13	12	19	12	14	17	21	20	17	177
その他	4	I	3	7	12	8	7	17	14	15	14	16	118
合計	46	34	25	52	47	55	52	67	59	67	67	64	635

② 支援内容　（人）

福祉サービスの利用等に関する支援	1,258	保育・教育に関する支援	49
障害や病状に関する支援	5	社会参加や余暇活動に関する支援	
健康・医療に関する支援	60	家計、経済に関する支援	1
不安の解消・情緒安定に関する支援	5	権利擁護に関する相談	1
家族関係・人間関係に関する支援	28	その他	180

計　1,587 人

（７）保育所等訪問支援

保育所等を訪問し、発達に課題のある子どもたちに対して、他の子どもたちとの集団生活への適応のための専門的な支援その他必要な支援を行った。

実施状況　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
公立保育所	4	4	4	4	4	6	5	5	6	5	5	1	53
私立保育所	8	8	8	8	9	8	12	10	9	9	8	7	104
公立幼稚園	5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	2	0	50
私立幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	I	1	1	1	0	I	1	1	0	I	0	0	8
合計	18	18	18	18	17	19	23	21	20	20	15	8	215

（８）くまさん親子教室事業

発達や養育上に課題のある概ね２歳から３歳児の幼児及び保護者の親子を対象に、1日１０組、通年で実施した。入室希望者が多かったため、週４回実施し 40 名が参加した。

実施状況　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月曜日	8	6	15	16	14	9	16	11	14	8	14	8	139
火曜日	8	12	17	26	16	21	19	21	24	22	19	9	214
水曜日	6	10	12	9	3	15	11	20	15	16	14	9	140
金曜日	5	10	6	16	17	16	15	17	17	17	22	8	166
計	27	38	50	67	50	61	61	69	70	63	69	34	659

（９）日中一時支援事業

日中一時支援事業（市町村事業）として、障がい児に対し長期休暇や放課後の預かり、保護者のレスパイト支援の一環として、障がい児やその家庭の福祉向上を図るために、日中活動の場として受入れを行った。

利用実績　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	7	2	3	4	3	5	6	5	6	4	5	6	56

（１０）各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携をとるため、次のとおり会議を開催した。

１．施設連絡会議（毎月２回）　　２．行事会議（随時）
３．ケース会議（随時）　　４．家庭児童相談課との会議（判定会議等）
５．処遇会議（毎日）　　６．給食会議（月１回）
７．総括会議（年度末）

（１１）災害防止対策

通園児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に１回実施した。

（人）

実施日	想定災害	訓練内容	参　加　者			
			園児	保護者等	職員	合計
4 月 I 9 日	火　災	避 難 訓 練	17	6	14	37
5 月 17 日	〃	〃	17	5	14	36
6 月 25 日	〃	〃	19	6	13	38
7 月 12 日	〃	〃	18	5	14	37
8 月 30 日	〃	〃	21	6	14	41
9 月 5 日	地震	〃	24	8	16	48
10 月 18 日	火災	〃	24	9	14	47
11 月 22 日	〃	〃	24	5	13	42
12 月 20 日	〃	〃	25	5	14	44
1 月 10 日	〃	総合消防訓練	22	18	15	55
2 月 21 日	〃	〃	25	6	15	46
3 月 6 日	〃	〃	25	6	13	44

（１２）防犯安全対策

通園児や職員の安全を確保するため、防犯訓練を実施し環境整備に努めた。安全点検簿を作成し、敷地内の点検を日々行い、事故等の未然防止、危険箇所の把握・改善に取り組んだ。

実施日	参加人数
6 月 5 日	21 名

（１３）職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研修日	研修名	開催場	主　催	職種
6 月 6 日	感染症食中毒予防対策 講習会	クレオ 大阪	大阪府	児童指導員
6 月 6 日	大阪府実地監査説明会	大阪市	大阪府	施設長
6 月 9 日	臨床心理士第 27 回会研修会	大阪市	大阪臨床 心理士会	公認心理師
6 月 13 日	指定障がい児支援事業者等 集団指導	大阪市	大阪府	施設長 児童指導員
6 月 17 日 7 月 1 日 10 月 21 日 11 月 18 日 12 月 14 日 2 月 10 日	北摂杉の子会 こども発達支援センターwill 令和元年度研修講座	高槻市	大阪府	保育士
6 月 10 日 7 月 1 日 10 月 7 日 11 月 18 日 12 月 14 日 2 月 10 日	北摂杉の子会 こども発達支援センターwill 令和元年度研修講座	高槻市	大阪府	相談支援員
6 月 25 日	質の向上に向けた ディスカッション	高槻市	大阪府	作業療法士
7 月 2 日	安全運転管理者講習	摂津市	大阪府	摂津市
8 月 29 日	療育研修（交流）会	摂津市	大阪府	言語聴覚士
9 月 1 日	大阪医科大 LD センター 研修会	高槻市	大阪 医科大学	保育士
9 月 6 日	第 2 回圏域連絡会	高槻市	大阪府	作業療法士
9 月 18 日	障がいのある子どもの 子育て講座	枚方市	スキップ くらぶ	保育士
9 月 30 日 10 月 4 日 10 月 16 日	医療的ケア児等 コーディネーター養成講座	大阪市	大阪府	相談支援専門員 作業療法士

12 月 8 日	大阪府臨床心理士会 合同研修会	大阪市	大阪臨床 心理士会	公認心理師
12 月 11 日	感染症予防研修会	摂津市	摂津市	保育士
12 月 27 日	普通救命救急講習会	当園	大阪府	全員
2 月 12 日	難病関係機関職員研修会	茨木市	北摂	相談支援専門員
2 月 15 日	医療的ケア児等支援者 実践報告会	大阪市	大阪府	相談支援専門員
2 月 17 日	発達障害研修	摂津市	摂津市	保育士

（１４）施設実習生の受け入れ

児童発達支援センターの地域における社会資源として、外部からの実習生を積極的に受け入れた。

実習期間	学校名等	内容	人数
7 月 8 日～22 日	日本メディカル福祉専門学校	保育実習	1
8 月 26 日、29 日	大阪人間科学大学	公認心理師 見学実習	2
12 月 9 日～21 日	日本メディカル福祉専門学校	保育実習	1
2 月 3 日～18 日	京都光華女子大学	保育実習	1
2 月 3 日、4 日	兵庫医療大学リハビリテーション学部作業療法士学科	臨床実習	2
2 月 10 日、12 日			1

（１５）他機関との連携

① 子育て支援ネットワーク推進会議

実施日	事業名	出席者
5 月 13 日、11 月 12 日 2 月 18 日	第五中校区地域教育協議会　役員会	施設長
3 月 3 日（※中止）	第五中校区地域教育協議会　総会	施設長
5 月 31 日	子育て支援ネットワーク推進会議代表者会議	〃
6 月 7 日、10 月 9 日、 2 月 7 日	地域子育て連絡会実務担当者会議	公認心理師
7 月 19 日	鳥飼地区子育て支援活動担当者会議	公認心理師

9 月 4 日	摂津社会福祉施設地域貢献委員会	施設長
7 月 11 日、11 月 14 日 1 月 16 日、2 月 13 日	第五中校区連携事業 たこづくり・たこあげ・ゲーム大会	施設長他
1 月 29 日	親子ランド in 鳥飼　会議	公認心理師
3 月 3 日（※中止）	第五中校区地域教育協議会　総会	施設長
3 月 19 日（※中止）	親子ランド in 鳥飼	公認心理師 保育士

令和元年度も第五中校区連携事業たこあげ・ゲーム大会は、地域の団体と連携して校区の鳥飼小学校、鳥飼東小学校、第五中学校、とりかい遊育園、とりかいひがし遊育園、そして当園の対象児が一堂に会し楽しむ事ができた。

② 摂津市児童発達支援事業所連絡会

市内の事業所が集まり連絡会を開催する。情報交換、スキルアップを図り、全体的な支援体制を向上させるというねらいで実施する。

実施日	内容	参加事業所	開催場所
2 月 28 日 ※中止	学校や保育所との連携 災害時の対応について	14 事業所	児童発達支援センター

③ その他

＊摂津市要保護児童対策地域協議会

つくし園在園児の家庭での様子や親子関係の様子から、虐待の疑いが見受けられた場合は、要保護児童対策地域協議会と連携を図り、情報交換、役割分担をして子どもの安全に努めた。

＊アフターケア

卒園児が就学した小学校へ担当者が出向き、就学先や卒園児保護者からの相談に対応した。また、退園児が入所した保育所にも担当者が出向き、引継ぎ等アフターケアを行った。運動会や発表会等の行事にも職員が出向くなどし連携を図るとともに、その都度、関係者から情報を収集するなどして卒修了児の状況把握に努めた。

＊ボランティア

夕涼み会にて人形劇にボランティアグループのころりんぽっけと摂津高校和太鼓クラブの参加を得た。

＊職業体験

市内の中学校の二年生を対象とした取組みである職業体験学習を二日間受け入れた。

実施日	学校名	参加者
11 月 14 日、15 日	市立第五中学校	2 名

（１６）新型コロナウィルス感染症の発生に伴う措置

令和 2 年 2 月頃より日本国内での感染者拡大を受け、利用児童、職員の健康管理はもとより、園内、遊具の消毒、通園バス、室内の換気等に努め事業を行った。

また、令和 2 年 2 月 25 日付「新型コロナウィルス感染症対策の基本方針」等に基づき、行事等を含む事業内容の見直しを職員会議等で行い、その結果下記の点について変更、改善を行った。

・母子クラス利用児童の状況により可能な範囲で単独登園とした。

・3 月 11 日に予定していた「おたのしみ会」の保護者参加を中止し、利用児童と職員で行った。

・3 月 19 日に行った「卒園式」は、例年行っていた茶話会は中止とし、式のみを時間を短縮して行った。

そのような取り組み、改善を行ったことで、全園児、保護者、職員が感染することなく 1 年を無事に終えることが出来た。

Ⅱ　障害児通所支援施設「めばえ園」

（１）概況

めばえ園は、児童福祉法による通所利用の障がい児に対する支援を行う身近な療育の場として、未就学児を対象に「児童発達支援事業」、就学児を対象に「放課後等デイサービス事業」を実施した。併設しているつくし園内の利用児の相談支援及び行政機関（保健福祉課、子育て支援課）で受付けられたのち、障害児相談支援事業所で作成される障害児支援利用計画書に基づき、理学療法・作業療法・言語療法の訓練領域について、個々の課題に沿う訓練を保護者との連携のもと実施した。心身その他状況に応じて、生活に関する相談及び助言等も行った。

摂津市保健福祉課、子育て支援課からの依頼のケース観察・評価が 81 件、保育所の巡回指導が 16 件、小学校の巡回指導が 28 件及び来園相談等があった。各関係機関からの協力依頼に基づき連携・協力に努めた。

めばえ園では今後も摂津市の子どものために関係機関との連携を密にとり、社会や利用者のニーズに応えていけるよう更なるサービスの向上を図っていきたい。

（２）サービスの状況

① 理学療法

個別訓練を発達段階に応じて実施した。個別訓練では感覚、運動レベルの機能障害に対しての訓練指導のみならず、利用児を取り巻く生活環境や家族関係等への指導助言も、丁寧に行い、訓練とともに成果をあげた。

② 作業療法

知覚、認知、概念の学習や日常生活動作指導、手指機能訓練を主として行った。
利用児を取り巻く生活環境や生活場面での状況に応じて、指導助言も丁寧に行い、訓練指導によって行動の安定、集中力の強化、コミュニケーションの拡大などにつながり、場面適応が改善されてきた。グループ訓練と個別訓練を、発達段階に応じて実施した。

③ 言語療法

口腔器官、聴覚器官だけの障害でなく、それらを制御する中枢器官に問題のある場合が多い中で早期治療が行われる事によって、伝達、思考、記憶への発達面の援助を行ってきた。

④ グループ訓練

児童発達支援事業として母子ともに、めばえ園を利用しての日中活動が必要なケースに対し、グループ訓練を実施した。対象児は「目と手の協応・運動の協調性などに課題をもち、小集団でのきめこまやかな援助・指導を必要としている幼児」で、発達的な課題

のみならず、環境的な要因からくる課題や、能力的なばらつき等も「発達の偏り」とみなし、利用する子どもも「障がい児」としてサービス提供をしてきた。

⑤ 送迎サービス

利用児の利便性向上のためニーズに応じて送迎サービスを実施した。

⑥ 障害児通所給付費支給申請の援助

障害児通所給付費の支給期間終了を迎え、継続が必要な利用児の支給申請についての援助を行った。

⑦ 家庭との連携

園と家庭との連携において、訓練には母子で来園することにより利用児への対応と発達段階をより理解し、子どもが学習し発達していく過程をしっかり受容できるよう促すとともに、共通の認識を持ち正しく利用児を理解できるよう努めてきた。

⑧ 関係機関との連携

就園、就学した利用児について、受け入れ機関との連携により担当者が訓練場面の見学のために来園したり、こども教育課の春・秋期の保育所巡回指導で公認心理師と作業療法士が同行して、助言や意見交換を行うなどした。つくし園児の進路指導においても、必要に応じて助言をした。

また、訓練に双方の職員が入り意見交換を行うなど、利用児がつくし園に入園した場合、常時連携に努めた。

（保育所　巡回指導）

実施日	対象機関
5 月 30 日、10 月 18 日	摂津市立鳥飼保育所
5 月 27 日、9 月 7 日	私立　鳥飼さつき園
6 月 4 日、10 月 20 日	私立　ひかりにこにこ保育園
6 月 13 日、10 月 28 日	子育て総合支援センター
7 月 9 日、9 月 26 日	私立　藤森保育園
6 月 21 日、9 月 10 日	摂津市立べふこども園
5 月 21 日、9 月 5 日	認定こども園　つるのひまわり園
5 月 27 日、9 月 17 日	私立　鳥飼さつき園
6 月 20 日、9 月 12 日	認定こども園　せっつ遊育園
6 月 11 日、10 月 21 日	私立　正雀ひかり園
6 月 17 日、10 月 24 日	私立　勝久寺保育園
6 月 14 日、9 月 19 日	認定こども園　みなみせんりおか遊育園
10 月 29 日	摂津市立鳥飼保育所

（来園相談・見学）

学校

実施日	対象機関
5 月 28 日	摂津市立三宅柳田小学校
4 月 3 日、7 月 12 日 9 月 11 日、9 月 12 日 11 月 23 日、12 月 10 日 12 月 11 日、12 月 13 日、 2 月 28 日	摂津市立鳥飼西小学校
4 月 3 日、11 月 21 日	摂津市立別府小学校
4 月 10 日、5 月 8 日	摂津市立味舌小学校
4 月 4 日、12 月 3 日	摂津市立千里丘小学校
4 月 5 日、11 月 11 日 12 月 20 日、1 月 28 日	摂津市立摂津小学校
4 月 9 日、4 月 29 日	摂津市立鳥飼東小学校
4 月 5 日、1 月 22 日	摂津市立鳥飼北小学校
4 月 2 日、12 月 2 日、 12 月 17 日	摂津市立味生小学校
1 月 9 日	大阪府立摂津支援学校

（幼稚園・保育園）

実施日	対象機関
5 月 29 日	認定こども園　つるのひまわり園
7 月 12 日	認定こども園　とりかい遊育園
12 月 12 日	私立　せっつひかり幼稚園

（他機関への講師派遣）

実施日	派遣先
9 月 4 日	摂津市教育研究会幼稚園部会

（３）健康管理

利用児の健康状態の把握には常に保護者と連絡調整を図り、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め助言・指導を受け訓練に活かしてきた。特に衛生状態には、細心の注意を払い対応した。

（４）通園児の状況　（人）

月別	開所日数	就学児	未就学児	合　計
4	20	40	59	99
5	19	34	69	103
6	20	39	72	111
7	22	36	93	129
8	17	33	88	121
9	19	34	101	135
10	21	35	103	138
11	20	38	109	147
12	20	33	114	147
1	19	23	138	161
2	18	19	139	158
3	21	27	127	154
合計	236	391	1,212	1,603

（５）サービス別の利用状況　（人）

	サービス別							観察	つくし個別指導	延人数
	理学療法		作業療法		言語療法		ｸﾞﾙｰﾌﾟ訓練			
	放	児	放	児	放	児				
4	11	6	17	31	12	10	12	2	4	105
	17		48		22					
5	7	12	18	28	9	10	19	4	11	118
	19		46		19					
6	6	9	20	37	13	8	18	12	12	135
	15		57		21					
7	5	11	18	43	13	12	27	4	9	142
	16		61		25					

8	4	7	14	45	15	11	25	10	14	145
	11		59		26					
9	5	14	19	42	10	14	31	5	14	154
	19		61		24					
10	8	11	13	45	14	13	34	7	14	159
	19		58		27					
11	7	15	17	47	14	18	29	5	14	166
	22		64		32					
12	7	10	14	51	12	20	33	12	14	173
	17		65		32					
1	3	13	9	56	11	22	47	9	12	182
	16		65		33					
2	7	20	5	59	7	22	38	5	13	176
	27		64		29					
3	8	24	5	67	14	22	14	6	13	173
	32		72		36					
合計	78	152	169	551	144	182	327	81	144	1,828
	230		720		326					

※「放」…放課後等デイサービス、「児」…児童発達支援事業

（６）各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

１．施設連絡会議（毎月２回）　　２．めばえ意見書会議（年２回）

３．家庭児童相談課との会議（判定会議、随時）

４．行事会議　（随時）　　５．処遇会議　（毎日）

（７）災害防止対策　（つくし園と同様）

利用児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に１回実施した。

（８）防犯安全対策　（つくし園と同様）

通園児や職員の安全を確保するため、防犯訓練を実施し、環境整備に努めた。安全点検簿を作成し、敷地内の点検を日々行い、事故等の未然防止、危険箇所の把握・改善に取り組んだ。

（９）職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研修日	研修名	開催場	主　催	職 種
8 月 29 日	大阪府障がい児等 療育支援事業療育研修	大阪市	大阪府	言語聴覚士
9 月 30 日 10 月 4 日 10 月 16 日 10 月 17 日	医療的ケア児コーディネーター 養成研修	大阪市	大阪府	相談支援員
12 月 11 日	感染予防研修会	摂津市	摂津市	保育士
12 月 25 日	大阪府サービス管理 責任者更新研修	大阪市	大阪府	児童発達 管理責任者
3 月 13 日	大阪府相談支援従事者専門コース別研修	大阪市	大阪府	相談支援専門員

4　多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」

（1）概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）・地域生活支援事業の移動支援の各事業を実施した。

生活介護では、自閉症スペクトラムや行動障害のある方に対して構造化を中心とした手法で落ち着いて過ごせる環境を整え、活動や行動に見通しを持ち作業に集中できるようになり利用者の活動の幅も広がった。また、近隣の企業から箱組立て作業を請負い、生産活動の機会を提供できる準備を行った。

就労移行支援では、訓練資源でもある陶芸･園芸作業を就労継続支援B型が担う事で、より実践的な職業訓練・就職活動等の就職に向けた取り組みを提供し、就労後においても定着支援に努めた。

就労継続支援 B 型では、「小型家電リサイクル事業（希少金属の再資源化）」と施設外就労「トレイ選別リサイクル事業」、その他請負作業と就労移行支援の作業資源を作業プログラムに組み込み、新たに箱折り作業の導入の準備を行った。昨年度以上に充実した取り組みができた事によって工賃がアップし、利用者の就労意欲の向上と地域生活での潤いにも繋がった。

自立訓練では、カリキュラム内容の再確認を行い、利用者のスキルに沿った幅広いカリキュラムを提供した。また、サービス終了後の進路先について、一人ひとりの適性とニーズを確認しながら面談を重ね次の進路に繋げた。その他、新たな利用者確保の為に、支援学校や関係機関への情報提供を強化した。

今年度は、倉庫の改修工事や食堂の空調設備の交換等、利用者が安全に安心して登園できるよう危険個所を把握し環境整備を行った。今後も定期的な点検と計画的な改修・修繕が円滑に進むよう努めたい。

ひびきはばたき園では、職員の意識改革と今後の事業及びサービスの展開の礎を築くことを目指し、職員の資質向上・意識の統一を図りながら、福祉を支える人材育成に努め、利用者が求める良質なサービス提供ができるように取り組んだ。

（2）支援の状況

■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取り組みを実施した。また、昨年度に引き続き構造化支援に取り組み、利用者が活動できる場を提供した。その他、近隣の企業より練習用資材をいただき、利用者及び職員が活動に向けて環境整備を整えながら、令和２年度開始を目標に生産活動（箱折り）の準備を行った。

① 個別支援計画

多様化した個別のニーズに応じるため、個別支援計画の作成、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

② 支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、制度サービスの活用に努めてきた。

また、移動支援事業「てくてく」を開始して以降、積極的にガイドヘルパーの利用を促してきた。併せて、家族に対しても制度サービスの利用について働きかけた。

③ 日中活動の充実（療育活動・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全を確保するために活動内容･障がい程度を基準に､いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきの５クラスに編成し、個別プログラムに合わせた活動を行った。

（ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラックスタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し基本的生活習慣の獲得・向上を目指した。

（イ）わくわくクラス

集団を意識しながら個人に応じた作業を取り入れ、和紙作業・制作活動・レクリエーションなどの活動を行った。

（ウ）うきうきクラス

安心して見通しが持てるよう構造化を個別に行い、課題に応じた作業を取り入れ運動・散歩・レクリエーションなどの活動を行った。

（エ）のびのびクラス

作業手順や自立を目的とした構造化を行い、和紙作業・制作活動・レクリエーションなどの集団を意識できる活動を行った。

（オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を実施した。音楽療法・調理訓練・作業療法・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた活動を行った。

④ 生活支援

利用者一人ひとりのニーズに応えるために個別支援計画（６ヶ月ごとに見直し）をもとに個別へのアプローチや個々に応じたサービス支援を行った。緊急時の対応としても、必要に応じた適切な支援を行った。

■就労移行支援・就労継続支援Ｂ型・自立訓練（生活訓練）

就労移行支援では、日々の訓練で「就労する」素地を育み、就労活動・求職活動に積極的に取り組んだ。また、就労継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せっつくすのき等の関係機関や、定期的に就労支援機関事業所連絡会や摂津市就労ネットワーク会議にも参加し連携を強化した。

就労継続支援Ｂ型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供を基本に、「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きかけにより、官公需要や地域の企業からの作業受注と新たに箱折り作業の導入準備を行うことができた。また、就労移行支援の作業資源を作業プログラムに取り込む事により、作業指導の活性化を図った。（株)ダイキンサンライズ摂津から受注した電気部品のコード巻き作業では、細かな点検や正確で安定した作業を評価いただき昨年度に引き続き今年度も品質功労賞を受賞した。

その他、市からの業務委託事業（食品トレー選別作業）に８名の利用者と職員で従事し、施設外就労として、就労継続支援Ｂ型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。

環境業務課・障害福祉課の協力の下、小型家電リサイクル事業のパソコン解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり充実した作業の提供ができた。

自立訓練（生活訓練）では、就職を目指す準備期間として生活能力の向上、社会人としての基礎を学べるよう取り組んできた。前期（１年目)、後期（２年目）の総合的なカリキュラムや課題を定めることで、利用者の能力に沿いながら訓練を行うことができた。また、将来に向けた目標が確立できるよう情報提供や面談を繰り返し、家族や相談支援センターウイング・就労移行支援等と連携しながら円滑に進路に繋がるよう努めた。

① 作業訓練と還元金の配分

個別支援計画（就労移行支援は３ヶ月ごと、就労継続支援Ｂ型は６ヶ月ごとに見直し）に沿った支援を実施した。

就労移行支援と就労継続支援 B 型では、陶芸や園芸作業、軽作業（電気部品の加工作業、小型家電解体作業）と食品トレー選別作業に取り組んだ。そして、還元金支給取扱い要綱の基に工賃を配分した。

② 生活支援プログラムの充実

定期的なプログラムとしては、利用者の個別ニーズに即した内容（自治会・情報提供・運動）を実施した。

③ 主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

④ 家庭生活、地域生活支援

個々の事情により生活全般の支援が必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課、相談支援事業所と連携しながら生活支援を行った。

前年度に引き続き、家族からの支援が望めない諸事情のある利用者について「一人暮らし・自立」への全般的な地域生活支援を実施した。また、障害者福祉課、生活支援課、相談支援事業所、その他関係機関と連携を強化しつつ、当園が軸となって支援を推し進めた。その他、健康で安心・安全な生活が送れるよう通院支援も実施した。

⑤ ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への一般の方の関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育への協力と捉え、積極的に受け入れてきた。

⑥ その他

施設支援計画や機関誌など、利用者への情報提供や案内文等には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

⑦ 作業指導

■就労移行支援、就労継続Ｂ型

・ 陶芸

市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、楽土市やバザーへの出店のための製品作りや、干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作を行った。

・ 園芸

ふれあいの里の一角を園芸用地とし、季節に応じた野菜を栽培しバザーで販売した。また、園芸作業の一環としてふれあいの里内の草木の環境整備も担った。

・軽作業

株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業と、サンキューサポートからの建材電気設備部品等の作業を受注した。また、不定期作業として障害福祉課より「障害者週間」の啓発のカイロの袋詰め作業を行った。この他２ヶ月に１回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組み、利用者一人ひとり

が役割と目標をもって取り組むことができた。

・食品トレー選別作業

摂津市内から集められた食品トレーの分別・選別を行い、リサイクルとゴミに選別した。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大と工賃向上に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。

・小型家電リサイクル作業

主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を海外流出させず国内循環し、社会に貢献できる事業である。作業の拡大と工賃の向上にも繋がった。

■自立訓練（生活訓練）

就労移行支援、就労継続支援 B 型より作業提供を受け、利用者一人ひとりの適性の把握や意欲の向上が図れた。

⑧ 就労活動

■就労移行支援　（人）

実施日	名　　称	場　所	参加者
5 月 14 日	求職活動	ハローワーク茨木	2
5 月 21 日	求職活動	ハローワーク茨木	2
5 月 24 日	求職活動	ハローワーク茨木	1
6 月 18 日	求職活動	ハローワーク茨木	2
7 月 1 日	求職活動	ハローワーク茨木	1
7 月 4 日	求職活動	ハローワーク茨木	1
12 月 24 日 25 日 26 日	企業・事業所実習	フラワーショップ林	5

⑨ 就職状況

■就労移行支援　（人）

事業所名	職　種	所在地	人数
ホームセンターコーナン	店舗内外清掃	茨木市	1
株式会社チャーム・ケア・コーポレーション	施設内清掃	茨木市	1

⑩ 生産活動（収入状況）

（単位：円）

内　容	年間収入	事業所
陶芸作業	647,350	
園芸作業	29,110	
清掃作業	182,840	㈱セラ
空缶・古紙回収	51,801	
電気部品の加工作業	439,542	(株)ダイキンサンライズ摂津
建設会社ＤＭ作業	106,060	エッグ住まいる工房
マスク作業	1,100	
ティッシュ袋詰め等請負作業	74,000	官公庁等
小型家電解体作業	1,161,212	摂津市役所、一般持ち込み等
食品トレー選別作業	9,226,325	環境業務課
その他	138,720	福祉まつり等
収 入 合 計	12,058,060	

⑪工賃支給状況

■就労移行支援　（単位：円）

月	工賃支給総額	作 業 内　容	利用者数	平均工賃
4	34,438	軽作業・陶芸・園芸等	7	4,920
5	34,410	軽作業・陶芸・園芸等	7	4,916
6	34,250	軽作業・陶芸・園芸等	7	4,893
7	29,317	軽作業・陶芸・園芸等	7	4,188
8	68,096	軽作業・陶芸・園芸等 一 時 金	5	13,619
9	23,948	軽作業・陶芸・園芸等	5	4,790
10	22,857	軽作業・陶芸・園芸等	5	4,571
11	25,750	軽作業・陶芸・園芸等	5	5,150
12	46,923	軽作業・陶芸・園芸等 一 時 金	5	9,385
1	24,342	軽作業・陶芸・園芸等	5	4,868
2	24,514	軽作業・陶芸・園芸等	5	4,903
3	48,054	軽作業・陶芸・園芸等 一 時 金	5	9,611

工 賃 支 給 総 額	平 均 工 賃 / ヶ 月
４１６，８９９	６，３１８

■就労継続Ｂ型支援　（単位：円）

月	工賃支給総額	各作業工賃		利用者数	平均工賃
4	901,804	軽 作 業・陶芸・園芸	77,750	17	53,047
		食品トレイ選別作業	824,054		
5	875,860	軽 作 業・陶芸・園芸	87,629	17	51,521
		食品トレイ選別作業	788,231		
6	863,540	軽 作 業・陶芸・園芸	83,250	17	50,796
		食品トレイ選別作業	780,290		
7	925,950	軽 作 業・陶芸・園芸	77,500	17	54,468
		食品トレイ選別作業	848,450		
8	960,507	軽 作 業・陶芸・園芸	73,096	17	56,500
		一 時 金	157,531		
		食品トレイ選別作業	729,880		
9	815,953	軽 作 業・陶芸・園芸	76,843	17	47,997
		食品トレイ選別作業	739,110		
10	875,665	軽 作 業・陶芸・園芸	78,335	17	51,510
		食品トレイ選別作業	797,330		
11	787,472	軽 作 業・陶芸・園芸	76,052	17	46,322
		食品トレイ選別作業	711,420		
12	1,006,726	軽 作 業・陶芸・園芸	84,250	17	59,219
		一 時 金	152,126		
		食品トレイ選別作業	770,350		
1	814,195	軽 作 業・陶芸・園芸	82,895	17	47,894
		食品トレイ選別作業	731,300		
2	779,225	軽 作 業・陶芸・園芸	85,555	17	45,837
		食品トレイ選別作業	693,670		
3	1,574,852	軽 作 業・陶芸・園芸	88,929	18	87,492
		一 時 金	673,683		
		食品トレイ選別作業	812,240		

工 賃 支 給 総 額	平 均 工 賃 / ヶ 月
１１，１８１，７４９	５４，３８４

（3）行　事

行事指導は、生活指導の一環として位置付け、種々の生活場面を導入し、レクリエーション的要素・学習的要素を含む取り組みにより知識・経験の拡大を図った。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援Ｂ型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場　　所	参加人数	内　　容
10 月 26 日	摂津宥和会 運動会 ※雨天中止	市立三宅柳田小学校		法人内の施設の利用者・OB とボランティアが参加の運動会。
12 月 8 日	風船バレーボール大会	市立三宅柳田小学校	利用者 生介　9 移行　3 Ｂ型　6 自立　2	市・市身体障害者福祉協会主催。希望者で参加した。
12 月 12 日	ジャンボ クリスマス	摂津市立身体障害者・老人福祉センター集会室	利用者 生介　29 移行　5 Ｂ型　9 自立　3	大阪人間科学大学人間科学部子ども保育学科「チーム　ぽしぇっと」による演奏を楽しんだ。
2 月 15 日 ～2 月 20 日	つくっ展と輝けコンサート	市立 コミュニティプラザ	利用者 生介　23 移行　5 Ｂ型　12 自立　0 一般 100	作品の成果発表の場として、また、地域との交流や福祉の啓発、そして、相互理解を目的とする。

■生活介護

実施日	行事名	場　所	参加人数	内　　容
6 月 20 日	懇親会	作業室Ｃ	利用者 24 家　族 8	利用者・家族・職員が一同に会して、音楽療法を楽しみながらコミュニケーションを図ることを目的とする。

7 月 9 日	園外活動	西河原市民プール	利用者 2	園外に出ることで社会性を高め、日常生活では得ることの出来ない体験を味わうことを目的とする。
7 月 12 日		〃	利用者 2	
10 月 17 日		尼崎城天守閣	利用者 5	
10 月 24 日		〃	利用者 6	
11 月 5 日		太陽の塔	利用者 3	
11 月 7 日		〃	利用者 5	
11 月 8 日		〃	利用者 5	
1 月 15 日		通天閣	利用者 3	
3 月 9 日	スプリング フェスタ ※新型コロナウイルスの影響で中止	作業室 C	利用者 家　族	1 年間の終わりに利用者・家族・職員が一同に会して、コミュニケーションを深めることを目的とする。

■生活介護かがやき

① 食事会

実施日	行事名	場　所	参加人数	内　容
7 月 10 日	食事会	JO-TERRACE OSAKA	利用者 3	園外に出て、食事を楽しむことで、潤いのある園生活を送ることを目的とする。
7 月 16 日		〃	利用者 3	
7 月 25 日		〃	利用者 3	

② 社会見学

実施日	行事名	場　所	参加人数	内　容
11 月 22 日	社会見学	万博記念公園 エキスポシティ	利用者　4	日常生活で、外出が困難な利用者が園外に出て、経験の枠を広げ潤いのある園生活を送ることを目的とする。
11 月 26 日		〃	利用者　3	
11 月 28 日		〃	利用者　2	

■就労移行支援・就労継続支援Ｂ型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場　所	参加人数	内　容
11 月 21 日	体験学習	大阪城天守閣	利用者 移行　5 Ｂ型　16 自立　2	利用者の意見を企画に反映させることで行事に対する意識を高めると共に経験の拡大を目的とする。

（４）家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援Ｂ型・自立訓練（生活訓練）

定例的な個別面談や家族会などにとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による情報交換などを行った。

項　目	実施日	内　　容
個人面談 家庭訪問	随　時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援Ｂ型は年 2 回・就労移行支援、自立訓練（生活訓練）は年 4 回以上）の説明と同意を得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し、信頼関係を築き、問題解決を図った。
給食試食会	11 月 21 日	平成 30 年度に行った嗜好調査及び利用者アンケートにおいて、日頃施設で提供している昼食を知りたいとの要望があり試食会を開催した。「給食」への理解を深めて頂き、また、自宅での献立の参考にしてもらった。
家族会	5 月 23 日	新入利用者紹介、新年度役員紹介、新年度支援体制・支援方針・年間行事計画、近況報告等について
	12 月 13 日	年末の大掃除・グループホーム勉強会
機関紙	毎月 1 日 発行	当月の予定や利用者の全般的な様子を掲載し、毎月 1 日に発行した。
月課表	毎月 1 日 発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎　日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 （生活介護のみ）
電話連絡	随　時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即応しなければならない場合に実施した。
その他	適　時	家族の都合により、９時から１７時の間で一時預かりをする。 登園時間外は、自力での登降園となる。

① ショートステイ先との連携

家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

② 医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

③ 市との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

④ その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

（５）法人内他施設との連携

・就労支援機関事業所連絡会

摂津市障害者職業能力開発センター　せっつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの三施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い円滑な支援ができるように連携を図った。

・みきの路との交流

みきの路の運動会などに当園の利用者が参加し、当園のクリスマス会や「つくっ展と輝けコンサート」などにみきの路の利用者が参加するなど、利用者間の交流を図った。

（６）健康管理

今年度も感染症予防のため、インフルエンザ、病原性大腸菌Ｏ－１５７、ノロウィルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図った。

看護師の来園時（月２回)、薬品の整理や使用方法、健康面・衛生面での助言や指導を受けたり、「保健だより」を発行して、より利用者が快適で安全な園生活を送ることができるように努めた。

① 環境整備

○冷暖房調節・換気、温湿度計の管理

○薬箱・体温計の整理・管理（作業室Ｃ）　　○医薬品管理

〇業者による園舎内清掃、消毒　　〇手指などのアルコール消毒
〇マスク

② 健康の維持・管理
〇健康カード作成（個人データの整理）
〇検温（体調不良時には随時）　〇血圧測定
〇理学療法士による運動プログラム
〇配慮食・きざみ食の提供
〇インフルエンザ対策（手洗い・うがい励行　検温・視診）

③ 服薬管理
〇医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）
〇服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

④ 作成資料
（ア）保健だより　年３回発行　　（イ）通院状況表
（ウ）服薬調査表　　（エ）健康チェックカード

⑤ 健康診断
（ア）内科医健診

実 施 日	6 月　3 日　　11 月 25 日

（イ）血圧・脈拍測定

実 施 日	毎月 1 回

＊健診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定

（ウ）その他健診、検査

歯科健診

実 施 日	7 月 23 日

検尿

実 施 日	5 月 16 日　　9 月 10 日

（７）給食の提供
給食については、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。
給食業務をウオクニ株式会社に委託して 16 年目となり、月 1 回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。
また、研修会などへの参加により多くの情報を得、利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらう環境作りを考えるよう努めた。

サービス向上委員会において、今年も給食のサービス向上のためのアンケートを実施し、その声を反映し、今年度も 11 月に家族向けの給食試食会を実施した。

食事は、あくまで個人的なものであることから個人が必要とする栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。

また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。

給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

1．給食会議の充実　　2．「給食だより（献立表)」の発刊（月１回）
3．残食検査の実施　　4．食事提供状態の充実
5．研修会の参加　　6．衛生管理の充実

（８）利用者の状況

①通所状況　　（在籍者数は月初の人数）

■生活介護　　（人）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	
支援日数（日）	21	20	20	22	21	19	21	20	21	19	19	21	244
延利用数（人）	494	464	473	514	459	442	489	445	472	448	427	485	5,612

■生活介護（かがやき）　　（人）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	
支援日数（日）	21	20	20	22	21	19	21	20	21	19	19	21	244
延利用数（人）	65	57	60	70	58	52	55	59	68	56	59	57	716

■就労移行支援　（人）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	7	7	7	7	5	5	5	5	5	5	5	5	
支援日数（日）	21	20	21	22	21	20	21	21	21	19	19	21	247
延利用数（人）	137	133	139	133	94	90	98	100	101	93	94	101	1,313

■就労継続支援Ｂ型　（人）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	
支援日数（日）	21	20	20	22	21	19	21	20	21	19	19	21	244
延利用数（人）	318	323	326	344	303	299	327	309	337	313	313	355	3,867

■自立訓練（生活訓練）　（人）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	
支援日数（日）	21	20	20	22	21	19	21	20	21	19	19	21	244
延利用数（人）	33	33	39	43	52	54	62	56	61	52	41	52	578

②年齢別　（令和 2 年 3 月 31 日現在）

■生活介護　（人）

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	1	4	3	10	18
女	0	1	1	7	9
計	1	5	4	17	27

■生活介護かがやき　（人）

年齢 性別	30～39 才	40～49 才	50～59 才	60～69 才	70～79 才	80～89 才	計
男	0	2	0	0	0	2	4
女	0	1	0	2	2	0	5
計	0	3	0	2	2	2	9

■就労移行支援　（人）

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	0	1	0	1	2
女	0	2	0	1	3
計	0	3	0	2	5

■就労継続支援 B 型　（人）

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	1	3	1	6	11
女	0	0	1	6	7
計	1	3	2	12	18

■自立訓練（生活訓練）　（人）

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	1	0	1	1	3
女	0	1	0	0	1
計	1	1	1	1	4

③手帳の所持

（ア）療育手帳　（令和２年３月 31 日現在）

■生活介護　（人）

判定 性別	A	B１	B２	計
男	18	0	0	18
女	9	0	0	9
計	27	0	0	27

■就労移行支援　（人）

判定 性別	A	B１	B２	計
男	1	0	1	2
女	0	3	0	3
計	1	3	1	5

■就労継続支援Ｂ型　（人）

判定 性別	A	B１	B２	計
男	5	5	1	11
女	1	5	1	7
計	6	10	2	18

■自立訓練（生活訓練）　（人）

判定 性別	A	B１	B２	計
男	0	3	0	3
女	0	1	0	1
計	0	4	0	4

（イ）身体障害者手帳　（令和 2 年 3 月 31 日現在）

■生活介護　（人）

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	0	3	0	1	4
女	1	1	0	1	3
計	1	4	0	2	7

■生活介護かがやき　（人）

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	3	1	0	0	4
女	1	4	0	0	5
計	4	5	0	0	9

（ウ）障害支援区分　（令和 2 年 3 月 31 日現在）

■生活介護　（人）

区分 性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	計
男	4	4	8	2	18
女	1	3	5	0	9
計	5	7	13	2	27

■生活介護かがやき　（人）

区分 性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	計
男	0	1	2	1	0	4
女	0	1	1	1	2	5
計	0	2	3	2	2	9

（９）各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

１．施設連絡会議（月２回）　　２．運動会実行委員会（随時）
３．作品展実行委員会（随時）　　４．職員会議（随時）
５．ケース会議（随時）　　６．給食会議（毎月１回）
７．サービス向上委員会（毎月１回）　　８．虐待防止・権利擁護委員会（随時）
９．リーダー会議（随時）

（１０）災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の任務分担、家族の緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練とふれあいの里消防総合訓練（通報、避難、消火訓練）を年２回実施した。また、緊急時の備蓄品として飲料水とアルファ化米を購入した。

実施日	想定災害	訓練内容	参加者				
			利用者				職員
			生活介護	就労移行	就労Ｂ型	自立支援	
4月16日	火災	火災報知器を鳴らして避難訓練	24	7	8	1	20
5月15日	〃	〃	24	6	9	2	21
6月18日	〃	ふれあいの里消防総合訓練	21	6	8	1	20
7月 4日	〃	火災報知器を鳴らして避難訓練	23	7	9	1	18
8月 5日	〃	〃	24	5	7	2	19
9月10日	〃	〃	18	5	6	3	17
10月16日	〃	〃	23	5	8	3	19
11月20日	〃	ふれあいの里消防総合訓練	23	4	8	3	21
12月6日	〃	火災報知器を鳴らして避難訓練	23	5	9	3	20
1月17日	震災	〃	23	5	8	2	21
2月 3日	火災	〃	19	5	8	3	16
3月11日	震災	〃	23	5	8	2	18

（１１）職員研修・会議

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

① 機関研修

研修日	研修名	場　所	主　催	職種
5 月 22 日	障がい者総合支援制度における指定事業者・施設集団指導	寝屋川市立市民会館	大阪府	施設長 支援員
7 月 2 日	安全運転管理者講習	摂津市民文化ホール	大阪府公安委員会	施設長
7 月 17 日	第 2 回日中活動、生産活動、就労支援部会（施設長会）	高槻地域総合支援センターぷれいすＢｅ	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会	施設長
7 月 26 日	令和元年度障がい児者施設課程（主任クラス）研修会	大阪府社会福祉会館	大阪府社会福祉協議会	支援員
9 月 4 日	2019 年度新任職員研修	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会	支援員
9 月 25 日	令和元年度強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）	大阪府立男女共同参画青少年センター(ドーンセンター)	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
10 月 3 日	指定管理者制度の運用 実務研修	摂津市役所	摂津市	支援員
10 月 7 日	令和元年度強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
11 月 6 日	令和元年度障がい者虐待防止・権利擁護研修	国際障がい者交流センター (ビッグ・アイ)	大阪府	支援員
11 月 7 日	令和元年度リスクマネジメントに関する研修会	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	支援員
11 月 13 日	就労支援におけるアセスメントの実施方法～ＭＳＦＡＳ・幕張ワークサンプルの活用～	大阪障害者職業センター	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	支援員
11 月 14 日	災害から利用者を守る支援者のための防災研修	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	支援員
11 月 16 日	高次脳機能障がい講演会	宝塚ソリオホール	ＮＰＯ法人宝塚高次脳機能障害者共生の会	支援員
11 月 19 日	平成 31 年度第 2 回感染症予防対策講習会	クレオ大阪中央	一般財団法人大阪府地域福祉推進財団	支援員
11 月 29 日	令和元年度障がい者虐待防止・権利擁護研修	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府	支援員
12 月 18 日	第 4 回日中活動、生産活動就労支援部会（幹部会）	大阪府立 砂川厚生センター	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会	支援員
12 月 21 日	2019 発達講座	大阪府教育会館 たかつガーデン	アイ・サポート研究所	支援員

1 月 16 日	令和元年度「大阪府サービス管理責任者等更新研修」	大阪府社会福祉会館	一般財団法人大阪府地域福祉推進財団	支援員
1 月 29 日	2019 年度権利擁護研修	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会	支援員
2 月 17 日	発達障害研修	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市	支援員
2 月 18 日	摂津市社会福祉施設地域貢献委員会実務担当者情報交流会	摂津市立地域福祉活動支援センター	摂津市社会福祉協議会	支援員
2 月 19 日	第 3 回関西基板ネットワーク会議	支援センターつつじ（ケアホーム）	関西基板ネットワーク	支援員

② 専門研修

研修日	研修名	場　所	主　催	職種
5 月 28 日	平成 31 年度大阪府茨木保健所管内集団給食研究会総会	茨木市福祉文化会館	大阪府茨木市保健所管内集団給食研究会	栄養士
6 月 11 日	食中毒予防講習会	茨木市福祉文化会館	大阪府茨木市保健所管内集団給食研究会	〃
9 月 29 日	日本人の食事摂取基準（2020 年度版）	マイドームおおさか	厚生労働省	〃
12 月 4 日	特定給食講演会Ⅱ	住吉区民センター大ホール	大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課保健予防・歯科・栄養グループ	〃
1 月 25 日	三島圏域地域リハビリテーション連絡会症例検討会	愛仁会リハビリテーション病院	三島圏域地域リハビリテーション連絡会	理学療法士

③ 施設内研修

研修日	研修名	講　師	職種
6 月 12 日	平成 31 年度衛生研修	(株)イーズニック	施設長他
6 月 21 日 28 日	構造化内部研修	赤澤支援員	施設長他
11 月 1 日 8 日	職場のハラスメントを考える	特定社会保険労務士　板東嘉子氏	施設長他

（１２）その他

① ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。受け入れに当たっては、より職員間の意識統一を図るため、ボランティア受入れマニュアルをもとに受け入れ、定期的に会議を設けた。

実施日	行事名	参加団体	人数
12 月 12 日	ジャンボクリスマス会	人間科学大学子ども保育学科	9
2 月 15 日	第 19 回つくっ展と輝けコンサート	関西電力労働組合　北摂支部	5

② 実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することで、進路選択を行うため広く受け入れた。また、福祉事務所からの実習も受け入れ、広く障がい者福祉の啓発や福祉の人材育成に努めた。

(実習生)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
6 月 24 日～26 日	摂津支援学校	自立訓練	1
7 月 10 日～12 日	摂津支援学校	就労継続支援 B 型	1
8 月 5 日～9 日	摂津支援学校	就労移行	1
8 月 19 日～23 日	摂津支援学校	就労移行	1
8 月 19 日～21 日	茨木支援学校	生活介護	1
9 月 2 日～6 日	摂津支援学校	自立訓練	1
10 月 8 日、10 日、11 日	摂津支援学校	自立訓練	1
10 月 16 日	摂津支援学校	生活介護	1
10 月 28 日～11 月 1 日	摂津支援学校	自立訓練	1
11 月 11 日～15 日	摂津支援学校	自立訓練	1
12 月 6 日～9 日	摂津支援学校	生活介護	1
12 月 10 日～12 日	摂津支援学校（2 年生）	自立訓練	1
1 月 27 日～28 日	摂津支援学校（2 年生）	生活介護	1

(職場体験実習)

実習期間	学校・施設名	受け入れ先	人数
6 月 13 日・14 日	摂津市立第三中学校	就労移行	2

③ アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなどの支援も行った。

（１３）日中一時支援事業

ご家族のレスパイトを目的に、障がい児・者を長期休暇時や放課後、他事業所利用者の平日休暇日に日中活動の場として一時的に受入れを行ってきた。

今年度の受け入れ状況は、本体施設利用者の状況や施設面（ハード面）などの問題により、受入れが制限されることがあり、また、利用者の障がい程度に合わせた５クラスの編成配置を行ったため、日中一時支援を受ける居室がないため児童の受入れは難しく、また障がい者の利用希望もなかった。

（１４）移動支援事業（ガイドヘルパー派遣事業）

① 概況

一人で外出することが困難な障がいのある方の外出時に、付き添いや介助等のサービスを行うガイドヘルパーを派遣した。今年度も利用者からの要望をもとにグループ支援など、余暇の充実のためのサービス提供を行った。

② 事業の状況

＊移動支援サービスの提供状況　（人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護あり	件数	15	16	14	13	11	14	9	14	11	13	6	0	136
	時間	117	122	99.5	92.5	77.5	98.5	63.5	103	77.5	93	42.5	0	986.5
	平均	7.8	7.6	7.1	7.1	7.0	7.0	7.1	7.4	7.0	7.2	7.1	0	6.6
身体介護なし	件数	2	5	2	3	1	6	1	2	1	1	5	0	29
	時間	15.5	37.5	14.5	19.0	7.0	44.0	7.0	16.0	7.5	7.5	37.5	0	213.0
	平均	7.8	7.5	7.3	6.3	7.0	7.3	7.0	8.0	7.5	7.5	7.5	0	6.7
合計	件数	17	21	16	16	12	20	10	16	12	14	11	0	165
	時間	132.5	159.5	114.0	111.5	84.5	142.5	70.5	119.0	85.0	100.5	80.0	0	1199.5
	平均	7.8	7.6	7.1	7.0	7.0	7.1	7.1	7.4	7.1	7.2	7.3	0	6.6

＊利用契約者の状況（令和２年３月 31 日現在）

		人　数	合　計
障害種別	知的障害	43	47
	身体障害	4	
	精神障害	0	
身体介護あり		27	47
身体介護なし		20	

③ 職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

研修日	研修名	場　所	参加人数
11 月 16 日	高次脳機能障がい講演会	宝塚ソリオホール	1
11 月 19 日	平成 31 年度　第２回感染症予防対策講習会	クレオ大阪中央	1

④ 各種会議

安定した移動支援サービスの提供と職員間の連携を図るため、定期的に会議を開催した。

実施日	内　　容	参加人数
5 月 8 日	会議（計画書等書類の書き方・グループ支援について）	10
6 月 3 日	会議（ニーズ調査）	8
7 月 22 日	〃	10
9 月 10 日	〃	11
11 月 11 日	〃	10
3 月 16 日	会議（計画書等書類の書き方・見直し、グループ支援について）	11

（１５）新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

令和２年２月頃より日本国内での感染者拡大を受け、施設内ではアルコール消毒液でドアノブ・手すり等の消毒を行い、登園時に検温、手洗いの徹底を行い健康管理に努めた。

また、食堂での座席配置や人数制限、大人数での活動の見直しも行った。

令和２年２月１３日付「社会福祉施設等における新型コロナウイルスへの対応の徹底について」等に基づき利用者の受入れには細心の注意を払い対策を講じた。

また、マスク不足の折、施設内の感染拡大防止を目的に就労の利用者が布製のマスクを作製し販売を始め、そして数に限りはあるが法人内の施設にも販売した。

5　摂津市立身体障害者・老人福祉センター

（１）概況

施設スローガンとして『共に歩もう！笑顔で・元気で・協働で』を掲げ、施設運営において職員と利用者間での結びつきを持つことで、より身近に利用してもらえる雰囲気の良い施設づくりに力を注いだ。施設の立地状況から、市内無料巡回バス セッピィ号や路線バスの到着時間に合わせて事業開始時間を設定しながら、利用者にとっての「健康づくり・生きがいづくり・友だちづくり」に寄与し、教養講座に加え、介護予防やフレイル（虚弱）予防を中心としながら、主催事業を展開してきた。

今年度は、利用者の健康増進・膝痛予防等を目的とし、1階玄関先に2台のエアロバイクを設置した。安全かつより効果的に利用していただくためにトレーナーの講習を受けたくさんの方に利用していただいた。また、従前より課題としている男性の利用拡大や継続して活動していただくことを目標に、“男性のための筋トレ＆ストレッチ教室”を行い、定員を上回る申し込みをいただき大変盛況であった。

今年度についても、つどい場運営ボランティアや手芸ボランティアの皆さんに、施設運営の一翼を担っていただいた。前年度一年間、特に活発に活動していただいた方々に、福祉センターまつりで感謝状を贈呈し感謝の意を表し、“やりがい”や“活動意欲”につなげた。各種講座・事業の広報活動で、市広報の掲載や初めての試みとして近隣地域への事業のチラシ配布等を行った。時代のニーズに合わせ「施設のホームページの充実」にも取り組んだ。そして、これまでと同様に、同好会や自主グループへの支援にも力を注いだ。

（２）利用について

① 利用対象

・市内在住の身体に障がいのある方　　・市内在住の６０歳以上の方

② 利用手続

・利用当日センター窓口で「利用証」を提示する。

・団体の場合は、使用日１ヵ月前から受け付ける。

③ 開館時間

・８時４５分から１７時１５分まで

④ 休館日

・日曜日　　・国民の祝日　　・１２月２９日～１月５日まで

（３）年間主要行事の実施状況

① 年間主催事業

（ア）主催事業

講　座　名	実　施　期　間	受講者数
男性のための 筋トレ＆ストレッチ教室	4 月 6 日～2 月 15 日（18 回） 基本毎月第 1.3 土曜日　9:10 ～ 10:30	16
健康体操（新規）	4 月 11 日～2 月 13 日（21 回） 毎月第 2･4 木曜日　12:45 ～ 13:45	11
カラオケ教室	4 月 3 日～2 月 19 日（22 回） ①毎月第 1･3 水曜日　10:00 ～ 12:00	17
	4 月 3 日～2 月 19 日（22 回） ②毎月第 1･3 水曜日　12:45 ～ 14:45	10
つどい場＆カラオケ教室	4 月 3 日～2 月 19 日（44 回） 毎週水曜日　10:00 ～ 12:00	98 21 （ボランティア）
エアロバイク講習会	4 月 18 日から 2 月 6 日（14 回） 基本木曜日午前中　10：30～11：30	107

※２月２６日以降については、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として中止

（イ）受託事業

●いきいきカレッジ

『人生はこれからだ！広げよう 友達の輪』を年間テーマとして高齢者の方々が知識と教養を深める場、生きがいづくりや仲間づくりを行う場として開講した。5 月 31 日にコミュニティプラザに於いて、せっつ桜苑との合同開講式を行った。二部では、落語家の月亭天使さんによる「笑いで生き生き落語講座」を行った。

講　座　名	実　施　期　間	受講者数
いきいきカレッジ（老人大学）	5 月 31 日 ～ 11 月 15 日（20 回） 毎週金曜日　10:30 ～ 15:00	36

1　一般教養科目

	月 日	講　演　名	講　師　名
①	6 月 7 日	ふれあいの里施設見学	
②	6 月 14 日	『それなりの自分を知り、直し（治し） 自分なりのいきいき豊かな人生を』	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ 郡　眞由美氏

③	6月21日	『消費生活のトラブルあれこれ なぜトラブルにあうのか』	摂津市消費生活相談ルーム 中村　元繁氏
④	7月5日	合同講座 『フレイル(虚弱)を予防して活き生き人生』	ＹＭＣＡ総合研究所 重信　直人氏
⑤	7月12日	『認知症サポーター養成講座』	摂津市高齢介護課 木下　愛子氏 地域包括支援ｾﾝﾀｰ 藤田　由美氏
⑥	7月19日	『今日からできる認知症予防』	摂津市高齢介護課 岡田　良子氏
⑦	9月6日	『生前整理とエンディング情報の整理について』	(一社)生前整理普及協会 山崎　由香氏
⑧	9月13日	『音楽 de 脳を活性化』	いきいきカレッジ せっつ桜苑講座講師 後藤　由美氏
⑨	9月20日	合同講座 『終活と相続・贈与　生前対策と改正民法を中心として』	税理士 辻　晴雄氏
⑩	10月4日	『いつでもどこでも指ヨガ』	健康運動指導士 木下　友恵氏
⑪	10月18日	『自分の命を守るために知っておくべきこと』	摂津市防災管財課職員
⑫	11月1日	『高齢化社会のごみ問題』	朝日新聞社社会部記者 長富　由希子氏
⑬	11月8日	『年末に向けての交通安全』	摂津警察署交通課 山田　利之氏

※社会見学　１０月２５日　大阪市住之江区・尼崎市・伊丹市方面
・ＡＴＣエイジレスセンター　・尼崎城　・白雪ブルワリービレッジ長寿蔵

※終日専門科目　6月２８日　7月２６日　9月２７日　１０月１１日

2　専門科目

科　　目	内　　容
ものづくりを 楽しんでみよう科	6 月～7 月 ミニらんま作り 9 月～11 月 陶芸 ・土もみ ・小鉢づくり ・小花入れ作り（赤白交互に積む） ・角皿作り（波紋）・一輪挿し ・マグカップ作り
笑顔で体操しよう科	ひざ痛/腰痛/肩こり/股関節痛の予防改善体操・転倒予防体操・ロコモティブシンドロームの予防体操・骨密度アップ体操・認知症予防エクササイズ・フレイル予防・健康概論・高齢者のからだ・簡単な解剖学・知っておきたい体のこと・呼吸について・腰痛の基礎知識・膝関節の仕組みと変形性膝関節症の予防改善・認知症/軽度認知障害について
パソコンを 始めてみよう科	電源の入れ方から・マウスの練習・文字入力・ワードでの文章入力/文章作成・Edge の起動・ホームページ検索・インターネットの注意点・メールの仕組み・Word の基礎知識（文書作成・印刷・グラフィック機能・イラストの挿入・表の作成・エクスプローラーの起動・ドライブの確認・フォルダー/ファイルの基本・ごみ箱の操作・バックアップ
パソコンを もっと知ろう科	入力の基礎・文書作成（フォントの書式設定）・Word 文章作成（段落の書式設定・表の作成/罫線の書式設定・図やイラストの挿入）・スマホやデジカメからの写真の取込・Google 画像検索・電子メールの利用・Word で 6 ケ月カレンダー作成・音楽 CD の取り込みやオリジナル音楽 CD の作成・便利なホームページ・インターネットネットショップ体験（ヨドバシカメラ）・インターネットプログラムをダウンロード・インストール（四川省）・Word で年賀状の作成・

１１月１５日にふれあいの里にて閉講式を開催し、式典、学習成果発表会及び懇親会を行った。

3　いきいきカレッジ（老人大学）申込・受講者数

・申込者数

専門科目	人数
ものづくりを楽しんでみよう科	8
笑顔で体操しよう科	15
パソコンを始めてみよう科	5
パソコンをもっと知ろう科	8
合　　計	36

・受講者数

専門科目	男性	女性	合計
ものづくりを楽しんでみよう科	3	5	8
笑顔で体操しよう科	0	15	15
パソコンを始めてみよう科	4	1	5
パソコンをもっと知ろう科	4	4	8
合　　計	11	25	36

（ウ）短期主催事業

講　座　名	実　施　期　間	受講者数
初級パソコン講座	11 月 21・22 日　13：00 ～ 15:00	20(延べ)

（エ）単発事業

実施日	事 業 名	場　　所	参加者	内　　容
9 月 15 日	第 19 回 福祉センター まつり	福祉センター	約 300 人	前日準備・当日・片づけ等分担し、利用者と職員、そして、他施設職員との協働で開催。作品展等の活動成果発表、午後から体験コーナーや参加者皆で体を動かし楽しむプログラムとした。
1 月 30 日 31 日	第 35 回 ふれあいの里 バスツアー	長野県方面	43 人	・妻籠宿　・光前寺 ・養命酒製造駒ケ根工場 ・お菓子の里飯田城 ・早太郎温泉「二人静」泊
3 月 14 日	多世代交流会 “みんなで楽しくつながろう！”	(予定) 第 1 児童 センター	※新型コロナウイルス感染拡大防止措置として中止	地域の自治会・民生児童委員・児童センター利用児・身障協会会員・ふれあいの里陶芸同好会会員・かがやき利用者が参加予定で、内容については、第 1 児童センターのけん玉クラブのパフォーマンス、参加者全員でレクリエーションやリコーダークラブといろいろな楽器を使って演奏を楽しむ予定だった。

② 同好会活動等　（人）

	同　好　会　名	活　　動　　日	時　　間	会 員 数
1	陶芸同好会	① 毎週火・木曜日	10:00 ～ 15:00	20
		② 毎週水・土曜日	10:00 ～ 15:00	26
2	え～やろ仲良会	① 第２・４月曜日	10:00 ～ 12:00	20
		② 第１・３月曜日	10:00 ～ 12:00	21
3	書道悠墨会	第２・４火曜日	10:00 ～ 12:00	17
4	革工芸同好会	月２回 木曜日	12:00 ～ 15:00	4
5	健康体操ＡＢＣ	Ａ 第１・３木曜日	14:10 ～ 15:40	16
		Ｂ 第２・４木曜日	14:10 ～ 15:40	18
		Ｃ 第１・３木曜日	12:40 ～ 13:50	18
6	パソコン同好会	第２・４水曜日	10:00 ～ 12:00	8
7	いきいきふれあいの会	毎 週 火曜日	13:30 ～ 15:00	15
8	太極拳同好会	毎週 金又は土曜日	13:00 ～ 15:00	10
9	パソコン撫子会	月２回 火・木曜日	10:00 ～ 12:00	7
10	パソコン 44 会	月２回 火曜日	10:00 ～ 12:00	8

③ その他の利用団体　（人）

	団　　体　　名	活　　動　　日	時　　間	会員数等
1	46 期パソコン科ＯＢ	月２回　水曜日	10:30 ～ 12:30	10
2	パソコンあじさい	月２回　木曜日	10:00 ～ 12:00	9
3	48 期パソコン科ＯＢ	月２回　火曜日	9:30 ～ 11:30	8
4	つどい場運営ボランティア	毎週水曜日	9:30 ～ 12:30	21
5	手芸ボランティア	月１回　月曜日	13:00 ～ 16:00	17

（４）利用者の月別状況　　（人）

月	主催事業	つどい場 参加者	つどい場 ボランティア	エアロバイク講習会	エアロバイク利用	短期・単発事業	同好会	健康体操ＡＢＣ	個人・団体	介護予防	いきいきカレッジ	手芸ボランティア	合計
4	91	45	27	18	13		399	97	111			22	823
5	71	51	33	26	75		350	87	131		67	22	913
6	87	56	41	4	70		385	89	59	12	141	28	972
7	85	68	42	9	105		412	92	90		136	28	1,067
8	76	31	25	8	117		287	87	84			28	743
9	68	60	37	8	101	300	312	110	137		131	13	1,277
10	85	63	44	18	172		338	132	59		129	33	1,073
11	81	71	40		149	20	342	88	65		100	26	982
12	76	47	40	8	147		329	85	225			16	973
1	57	46	41		118	43	318	86	84			12	805
2	77	41	25	8	156		326	83	75			36	827
3	0	0	0		15		0	0	0			0	15
合計	854	579	395	107	1,238	363	3,798	1,036	1,120	12	704	264	10,470

（５）年齢別利用証交付状況　　（人）

年齢／性別	45～49才	60～64才	65～69才	70～74才	75～79才	80～84才	85～89才	90～94才	合　計
男	1	1	6	16	29	23	5	1	82
女	0	9	45	96	85	34	13	1	283
合 計	1	10	51	112	114	57	18	2	365

（６）地区別利用証交付状況　　（人）

地区 性別	鳥飼北	鳥飼南	味　生	味　舌	千里丘	合　計
男	31	19	17	6	9	82
女	147	86	24	10	16	283
合 計	178	105	41	16	25	365

（７）身体障害者手帳等級別利用状況　　（人）

級 性別	１級	２級	３級	４級	５級	６級	合　計
男	1	1	2	3	0	0	7
女	5	2	3	4	0	1	15
合 計	6	3	5	7	0	1	22

（８）各種会議

１．施設連絡会議（月２回）　　２．法人行事実行委員会（随時）

３．ふれあいの里内防災担当者会議（随時）　　４．職員会議（随時）

（９）災害防止対策

施設の安全性を確保するため、防災設備の点検・災害時の任務分担及び緊急連絡網の確認等を行った。

（人）

実施日	参加者	実施内容
6 月 18 日	23	通報・避難・消火訓練をふれあいの里内施設合同で行った。（市消防立ち会い）
11 月 20 日	18	
3 月 11 日	―	震災訓練を予定していたが、休館のため未実施

（１０）職員研修

利用者へのサービス向上や職員のスキルアップのために研修会に参加した。

（人）

研修日	研修名	出席者
8 月 30 日	摂津市研修会 「台風の基礎知識、施設等の日常点検及び台風接近時の注意点等」	1
11 月 8 日	法人内研修 「職場のハラスメントを考える」	1
12 月 11 日	法人内研修 「セコム安否確認サービス研修会」	1
1 月 24 日	法人内研修 「普通救命講習会」※2/28 に 2 名受講予定であったが中止	1
2 月 14 日	摂津市高齢介護課主催「通いの場」事業人材育成ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ講座 「消防訓練（胸部圧迫・ＡＥＤ使用方法）」	1
2 月 17 日	摂津市高齢介護課主催「通いの場」事業人材育成ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ講座 「高齢者のきこえとコミュニケーションの取り方」	1
3 月 3 日	法人内研修 「令和 2 年度からの給与等改正について」	全職員

（１１）新型コロナウイルス感染拡大防止の措置

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、玄関に手指消毒液を設置し館内各所で換気を徹底した。

摂津市からの指示で、令和２年２月２６日より主催事業を中止とし、同好会等の自主グループにはそれぞれに活動継続か自粛するかの判断を求めた。ほとんどの活動団体が活動を自粛する中、3 月 9 日より年度末まで１９日間休館となり、予定していた多世代交流会をはじめとする各種主催事業を行えなかった。

6　摂津市障害者職業能力開発センター「せっつくすのき」

（１）概況

障がい者の就労を可能にするために、知識・技能及び職業人に必要な挨拶やマナー等の習得を図り、職場定着できるように支援を行った。身体障がい者及び内部障がい者対象のＯＡ実務科と知的障がい者対象の実務作業科の２科で、それぞれ定員１０名の１年間の職業訓練を実施したが、ＯＡ実務科では平成３０年１０月生の定員割れ及び体調不良、就職退校があり、引継生２名となり平成３１年４月入校生ＯＡ実務科５名、実務作業科１０名の１７名でスタートした。９月末に引継生２名の修了と実務作業科１名が体調不良で退校したが、新たに１０月生が５名入校し、１０月以降は１９名で訓練を行った。年間を通して１３名の方が就職することが出来た。

また大阪府委託訓練事業である短期訓練「作業習得科」は、６月開講の２名が９月と１２月に就職した。１１月に開講したコースの１名については、就職には至らなかった。

職業訓練では訓練生の適性と能力の把握に努め、６月の障害者技能競技（アビリンピック）大会には実務作業科１０名とＯＡ実務科 １ 名が出場し、訓練生の就労に対する意識を高めその後の就職活動につなげた。また、保護者も交えての参観及び懇談、公共職業安定所を招いての就職相談を実施し、本人の希望や能力・適性等を考慮したうえで、企業の絞り込みを行いながら応募した。

訓練生を確保するために訓練内容の質、就職率等当センターの実績について、近隣の公共職業安定所、就業・生活支援センター、府立高等学校等に出向いて行きＰＲの強化を図った。

（２）職業能力開発訓練指導の状況

ＯＡ実務科においては、簿記、ワープロ、表計算、ホームページ、電子会計を中心に訓練を実施した。また企業から求められるプレゼンテーション等個々に応じた選択科目を導入するなど、修了後、即戦力として働ける知識、技術を身につけるため各訓練生に合わせた柔軟な訓練カリキュラムを実施した。

実務作業科については、施設内の木工訓練、軽作業以外に、コミュニケーションを円滑に行うためにグループワークやソーシャルスキルトレーニングを取り入れた訓練を実施した。また、清掃技術向上のために、敷地内にある福祉センターの清掃を行い、清掃技術だけではなくコミュニケーション能力向上を図った。

両科合同で行う訓練では、事務補助就労を目指した郵便物の仕分け、封入、ピッキング、パソコンのデータ入力等を行うだけではなく、対人関係を良好に築くためのスマイルエクササイズや手話等も実施した。

① 行　事

職業訓練指導・社会生活指導を目的として、次のとおり行事を実施した。

実施日	行事名	場　所	参加者	内　容
4月 4日	入校式	せっつ くすのき	実務作業科 10名 ＯＡ実務科　7名	入校生 実務作業科36期生10名 ＯＡ実務科49期生5名
5月13日 ～28日	保護者等懇談	〃	実務作業科 10名	保護者の参観、懇談
5月23日	就職相談	ハローワーク 茨木	ＯＡ実務科　2名	管轄職業安定所の担当官との個別就職相談
6月19日	企業見学会	(株)スミセイ ハーモニー	実務作業科 10名 ＯＡ実務科　7名	就職活動として障害者雇用事業所を見学する
7月3日		(株)ダイキンサンライズ摂津		
6月22日 7月6日	アビリンピックおおさか	ポリテク センター関西	実務作業科 10名 ＯＡ実務科　1名	競技課題を通じて実務面での応用力を養う ・製品パッキング 銅賞4名 ・ビルクリーニング 銀賞2名 ・データ入力 銅賞2名 ・オフィスアシスタント 銅賞2名 ・ワードプロセッサ 銅賞1名
7月24日	スマホ・携帯安全教室	せっつ くすのき	実務作業科 10名 ＯＡ実務科　7名	KDDI協力のもと、適正な使用の啓発
9月25日	修了式	〃	〃	修了生 ＯＡ実務科48期生2名
10月9日	入校式	〃	実務作業科　9名 ＯＡ実務科 10名	入校生 ＯＡ実務科50期生5名

10 月 24 日	就職相談	〃	実務作業科　9 名 ＯＡ実務科　5 名 保護者　　6 名	各管轄職業安定所の担当官との個別就職相談
10 月 26 日	運動会	〃	実務作業科　9 名 ＯＡ実務科 10 名 ＯＢ･ＯＧ　4 名	雨天中止の為、施設内でミニ運動会を実施
2 月 2 日	摂津ふれあいマラソン	淀川河川公園鳥飼下地区	実務作業科　9 名	実務作業科の体育の一環として出場
2 月 6 日	企業見学会	(株)ダイキンサンライズ摂津	ＯＡ実務科　5 名	就職活動として障害者雇用事業所を見学する
2 月 19 日		(株)スミセイハーモニー		
3 月 25 日	修了式	せっつくすのき	実務作業科　9 名 ＯＡ実務科　5 名	修了生 実務作業科 36 期生 9 名 ＯＡ実務科 49 期生 5 名

② 採用試験受験、職場実習

職業安定所、新聞広告等からの情報を取り入れて、職場開拓、会社訪問、採用試験受験、職場実習をすすめ、就職活動を行った。

※障がい者合同面接会

実施日	名　称	場　所	参加者
6 月 12 日	高槻市障がい者合同就職面接会	高槻市生涯学習センター	ＯＡ実務科
7 月 22 日	ハローワーク大阪東ミニ面接会	ハローワーク大阪東	〃
7 月 25 日	ハローワーク梅田ミニ面接会	ハローワーク梅田	〃
9 月 6 日	摂津市障害者合同面接会	摂津市立コミュニティプラザ	〃
9 月 19 日	面接対策セミナー	エルおおさか	ＯＡ実務科 実務作業科
10 月 2 日	大阪労働局主催障害者就職面接会	マイドーム大阪	〃
11 月 27 日	障害者就労支援フェア	茨木市役所	〃
1 月 21 日	面接対策セミナー	エルおおさか	ＯＡ実務科
1 月 31 日	障害者合同就職面接会	ラポールひらかた	ＯＡ実務科
2 月 18 日	ハローワーク淀川ミニ面接会	ハローワーク淀川	実務作業科
〃	京都労働局主催障害者就職面接会	京都国際会館	ＯＡ実務科

③ 就職状況

令和元年度の就職先事業所、就職先は次のとおり。

ＯＡ実務科 第 48 期生　１名

事業所名	所在地
大和製罐(株)	茨木市

ＯＡ実務科 第 49 期生　４名

事　業　所　名	所在地
Ｓｋｙ(株)	大阪市
大阪赤十字病院	〃
学校法人大阪医科薬科大学	高槻市
第一生命保険(株)	大阪市

実務作業科　第３６期生　８名

事業所名	所在地
㈱ＪＲ西日本あいウィル	尼崎市
㈱あしすと阪急阪神	大阪市
(株)ダイキンサンライズ摂津	摂津市

事業所名	所在地
(株)森本製作所	寝屋川市
合同会社 ユー・エス・ジェイ	大阪市
(株)スミセイハーモニー	〃

④ 家庭等との連携

保護者または支援者に対して職業訓練の目的、主旨、生活指導、就職活動等を理解し協力を得るため、次のように随時懇談を実施して連携を深めた。

実施日	科目名	懇談内容
4 月 16 日 6 月 7 日 25 日	実務作業科	職業センター　重度判定
5 月 13 日～28 日	〃	訓練参観、訓練状況について
5 月 23 日	ＯＡ実務科	職業安定所就職相談会
5 月 24 日	実務作業科	支援学校引き継ぎ
6 月 5 日､8 月 19 日	作業習得科	支援機関面談
6 月 14 日､8 月 2 日 10 月 3 日､2 月 7 日 2 月 14 日､2 月 21 日	ＯＡ実務科	〃
7 月 5 日､7 月 11 日 8 月 7 日、8 月 30 日 9 月 5 日	実務作業科	サービス調整会議
8 月 8 日	〃	保護者面談
8 月 9 日	〃	〃
10 月 24 日	ＯＡ実務科 実務作業科	各職業安定所就職相談会

11月15日、3月13日	ＯＡ実務科	保護者面談
1月6日、2月19日	実務作業科	保護者面談
1月9日、3月26日	実務作業科	支援機関面談
1月24日	作業習得科	〃

（３）健康管理

食中毒・感染症予防対策としては、体温計、マスク、手洗い消毒液やアルコール消毒液を購入して対応し、訓練生や家族に対して、注意文書の配布や掲示等により、予防啓発に努めた。

その他、大阪府より入校して半年後に健康診断の実施が義務付けられたため、大阪府委託業者である大阪府結核予防会での健康診断を実施した。

実施日	検査内容	対象者	場　所
10月15日	身体計測、血圧、 聴力、視力、 尿検査、胸部レントゲン	実務作業科36期生 9名 ＯＡ実務科49期生 5名	せっつくすのき
3月11日		ＯＡ実務科50期生 5名	大阪府結核予防会

（４）訓練生の状況

① 手帳の所持者

（療育手帳）　（人）

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	1	1	6	8
女	0	1	1	2
合計	1	2	7	10

（身体障害者手帳）　（人）

級 性別	1	2	3	4	5	合計
男	1	5	1	1	2	10
女	0	1	0	1	0	2
合計	1	6	1	2	2	12

② 通校状況　　（人）

月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
在籍者数	ＯＡ実務科	48 期生	2	2	2	2	2	2							12
		49 期生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		50 期生							5	5	5	5	5	5	30
	実務作業科	36 期生	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	114
	合　　計		17	17	17	17	17	17	19	19	19	19	19	19	216
訓　練　日　数			17	19	20	22	16	19	21	20	18	18	17	16	223

③ 地域別　　（人）

	ＯＡ実務科			実務作業科	合　計
	48 期生	49 期生	50 期生	36 期生	
摂津市	0	1	1	2	4
高槻市	2	1	2	2	7
茨木市	0	1	1	2	4
大阪市	0	1	0	1	2
豊中市	0	0	0	1	1
吹田市	0	0	0	1	1
池田市	0	0	1	0	1
枚方市	0	1	0	0	1
寝屋川市	0	0	0	1	1
合　計	2	5	5	10	22

④ 年齢別（入校時）　　（人）

年　　齢		15～19 才	20～29 才	30～39 才	40～49 才	50～59 才	合　計
ＯＡ実務科	男	0	6	1	1	2	10
	女	0	0	0	0	2	2
実務作業科	男	6	1	1	0	0	8
	女	0	1	1	0	0	2
合　計	男	6	7	2	1	2	18
	女	0	1	1	0	2	4

⑤ 入校斡旋職業安定所　（人）

		茨木	枚方	淀川	池田	合計
ＯＡ実務科	48 期生	2	0	0	0	2
	49 期生	3	1	1	0	5
	50 期生	4	0	0	1	5
実務作業科	36 期生	6	1	2	1	10
合計		15	2	3	2	22

⑥ 通校の方法　（人）

方　法			電車 バス	バス	自家用車	自転車	徒歩	合計
ＯＡ実務科	48 期生	男	0	1	1	0	0	2
		女	0	0	0	0	0	0
	49 期生	男	1	2	1	0	0	4
		女	0	1	0	0	0	1
	50 期生	男	1	3	0	0	0	4
		女	0	1	0	0	0	1
実務作業科	36 期生	男	1	7	0	0	0	8
		女	0	1	0	0	1	2
合　　計		男	3	13	2	0	0	18
		女	0	3	0	0	1	4

（５）障がい者の態様に応じた多様な委託訓練事業（作業習得科）

軽作業・木工等の作業訓練により、生活態度・集中力・持続性等の向上を図り、多種多様な仕事に対応できる基礎知識、技能の習得を行う。

訓練期間	令和元年 6 月 3 日 ～ 8 月 30 日	令和元年 11 月 1 日 ～令和 2 年 1 月 31 日
定　　員	年間　4 名	
受 講 者	2 名	1 名

就職先

事業所名	所在地
(株)カネカ大阪工場	摂津市

受講者の状況

（療育手帳）　（人）

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	0	1	1	2
女	0	0	1	1
合 計	0	1	2	3

（地 域 別）　（人）

茨木市	高槻市	合　計
2	1	3

（６）各種会議

訓練生の職業能力の開発及び向上のため、ケース会議と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

１．施設連絡会（月２回）　２．ケース会議（随時）　３．カリキュラム会議（随時）
４．各行事会議（随時）　５．法人行事実行委員会（随時）

（７）防災訓練

火災、地震を想定した施設内訓練を次のように実施した。　（人）

実施月日	想定災害	訓練内容	参加者
6 月 18 日	火　災	総合消防訓練	訓練生 17　職員 8
11 月 20 日	火　災	総合消防訓練	訓練生 18　職員 7

（８）職員研修

訓練生の職業能力の開発及び向上を図るため、職員の資質向上を目指し、また、関係機関と連携を図るため各種研修等に参加した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
4 月 23 日 24 日	公正採用　新任・基礎研修	エルおおさか	大阪府	施設長 代理
5 月 14 日	新規学卒予定者対象求人手続説明会及び公正採用選考人権啓発推進員研修	茨木市オークシアター	摂津市人企連	施設長
7 月 2 日	安全運転管理者講習会	摂津市民文化ホール	大阪府公安委員会	〃
7 月 4 日	大阪府障害者訓練担当施設長会議	大阪障害者職業能力開発校	大阪府	〃

7 月 18 日	指導員全体研修	エルおおさか	大阪府	指導員
7 月 19 日	能力開発施設連絡会	阪神友愛食品㈱	就業支援ネットワーク	施設長 施設長代理 指導員
8 月 30 日	台風時の強風災害への対応	摂津市地域福祉活動支援センター	摂津市	施設長
9 月 27 日	知的障がいに併存しやすい様々な発達障がいの理解と支援方法	大阪急性期・総合医療センター	大阪府障がい者自立相談センター	指導員
11 月 14 日	災害から利用者を守る支援者のための防災研修	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	施設長 指導員
11 月 29 日	事業所のメンタルヘルス推進担当者研修会	大阪私学会館	大阪府	施設長代理
12 月 11 日	感染症予防研修会	摂津市役所	茨木保健所	指導員
12 月 13 日	コミュニケーション力向上セミナー	茨木市立男女共生センター	茨木市	施設長代理
12 月 18 日	指導員全体研修（人権研修）	エルおおさか	大阪府	指導員
1 月 21 日	あなたの職場は大丈夫？ ～指導とパワハラの境界線～	八尾商工会議所	八尾市人企連	〃
1 月 28 日	性の課題のある知的障がいの方への支援	大阪急性期・総合医療センター	大阪府障がい者自立相談センター	〃
2 月 4 日	職業訓練サービス ガイドライン研修	滋賀県農業教育情報センター	厚生労働省	〃

（9）その他：　検定試験合格者　（人）

実施日	検定名	科目名	合格者
4 月 23 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（文書作成）３級	OA 実務科	2
5 月 22 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（データ活用）３級	〃	2
6 月 9 日	日本商工会議所　　簿記３級	〃	1
6 月 21 日	日本商工会議所　　簿記初級	〃	1
7 月 26 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（文書作成）３級 日本商工会議所　ＰＣ検定（プレゼン資料作成）３級	〃	2 1
8 月 8 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（文書作成）３級 日本商工会議所　ＰＣ検定（データ活用）３級	〃	1 2
9 月 19 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（データ活用）３級	〃	1
11 月 29 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（プレゼン資料作成）３級	〃	3

12 月 20 日	日本商工会議所　　簿記初級 日本商工会議所　ＰＣ検定（プレゼン資料作成）３級	OA 実務科	3 1
1 月 28 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（文書作成）２級 日本商工会議所　ＰＣ検定（データ活用）２級 日本商工会議所　ＰＣ検定（データ活用）３級	〃	1 1 1
2 月 7 日	日本商工会議所　　簿記初級	〃	1
2 月 14 日	日本商工会議所　　簿記初級	〃	2
2 月 23 日	日本商工会議所　　簿記３級	〃	3
2 月 26 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（データ活用）３級	〃	1
3 月 6 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（文書作成）２級	〃	1
3 月 6 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（プレゼン資料作成）２級	〃	1
3 月 16 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（プレゼン資料作成）２級	〃	1
3 月 17 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（文書作成）３級	〃	2
3 月 19 日	日本商工会議所　ＰＣ検定（データ活用）２級 日本商工会議所　ＰＣ検定（文書作成）３級	〃	2 1

（１０）訓練生の募集活動・施設のＰＲ活動

訓練生の募集活動として公共職業安定所はもとより、摂津市をはじめ近隣市の障がい担当課、支援学校、大学、病院、関係機関等に対するＰＲ活動に努めた。

実施日	ＰＲ事業	主　催	内　容
6 月 12 日	障がい者職業訓練 合同説明会	大阪府 摂津市	大阪北部地域障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校向け合同説明会を実施
7 月 1 日		大阪府	大阪南部地域障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校向け合同説明会を実施
8 月 1 日	障がい者職業訓練 合同説明会	大阪府	障害別に大阪府下の障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校向け合同説明会を実施
11 月 11 日			
7 月 4 日	ハローワーク職員向け 障がい者職業訓練説明会	〃	募集時期に合わせて各訓練校の内容・特色等の説明会を実施
10 月 28 日			

【応募生職業評価選考試験】

令和元年１０月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。

（人）

実施日	科目名	募集	応募者	合格者	対　象　者
8 月 23 日	ＯＡ実務科	5	5	4	身体障がい者
9 月 19 日		1	2	1	

令和２年４月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。

（人）

実施日	科目名	募集	応募者	合格者	対　象　者
12 月 5 日	実務作業科	10	8	6	知的障がい者
3 月 5 日		4	5	4	
2 月 12 日	ＯＡ実務科	5	12	5	身体障がい者

（１１）アフターケア

修了生の職場定着を図り、企業の障がい者の就労に対する理解を深めるため、就職先事業所を連絡訪問し、就労の状況の把握を行い、事業所に対し相談援助を行った。また、修了生や事業所からの相談を受けてケアを行った。

（１２）新型コロナウイルス感染症の発生に伴う休校措置

令和２年２月中旬頃より日本国内での感染者拡大を受け、施設内ではアルコール消毒液でドアノブ、机等を朝昼２回の消毒、登校時の検温を実施し健康管理に努めた。

しかし、大阪府内では２月２７日に予定されていた大阪府障がい者合同就職面接会を始めとする面接会が中止になった。

令和２年２月２５日付「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」等に基づき小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等について一斉休業が要請されたことを踏まえ、大阪府より２月２８日（金）に、翌週の３月２日（月）より入校式前日（４月５日）まで府内で実施している障がい者の職業訓練についても同様に臨時休校する指示があった。

当センターにおいては、訓練終了間際の時期ということで、企業の個別の面接、体験実習等の予定をしていたが、企業の感染症対策や理解の中で実施することが出来た。

休校の指示により訓練生は自宅待機となったが、すでに各種ＰＣ検定の予定が入っていることや学習の機会を奪ってしまうこととなるため、施設内の感染症対策を実施した中で朝夕の通勤時間を避け、小人数での分散登校を実施し、訓練の成果を上げることが出来た。修了式についても同様に、来賓、保護者、在校生のいない中での短時間で実施した。

7　摂津市立第１児童センター

（１）概況

平成から令和へ時代が移り、児童センターを取り巻く環境は乳幼児を中心に子育て世代が増加している。子育てに対するニーズの変化に対応すべく、事業の内容を見直した。

先ず「おもしろくらぶ」では、従来からの大阪人間科学大学こども保育学科との連携内容をより魅力あるものとした。新規事業では児童健全育成財団による「児童館などにおける遊びのプログラムの開発、普及と普及方策を検討するための調査研究」に大阪を代表して大型児童館ビッグバンと研究開発に携わり、全国の児童館に新たな遊びの発信をした。

次に法人の社会貢献事業として「こども食堂」を別府コミュニティセンターで年間を通して実施した。月に一回の開催で、毎回定員を超えての申込みがあり、別府地域の多くの児童が利用した。児童センターはその中心的な役割を担い、法人内だけの活動ではなく、地域の大学、ボランティア協会など、地域との連携を図りながら実施した。

移動児童館事業では別府コミュニティセンターで乳幼児親子向けに定例実施し、毎回参加される利用者ができるなど定着した。夏休みにはリコーダークラブがエントランスにて演奏した。従来からのクラブ活動、教室活動、行事において、いずれも定員を超えての申込みがあり盛況であった。日常の自由来館では、乳幼児親子から学童児まで、平均して多くの利用があった。

利用者に対するこれらの事業の情報発信は、法人のホームページのリニューアルに伴い、ホームページの内容をより充実させた。またフェイスブック、インスタグラムといったＳＮＳを頻回に活用し、事業のＰＲと様子を伝えた。

設備では遊戯室の空調設備を更新して利用環境を整えた。

コロナウイルスの感染拡大防止の為、２月２６日から行事、イベントを中止した。その後３月３日から臨時休館となり、年度末の行事、イベントについては以下の表記の通り、企画、準備を進めたが中止となった。

（２）利用について

①利用対象

・保護者が同伴する乳幼児
・小学生
・児童関係の指導者及びこれに準ずるもの
・その他指定管理者が適当と認める者

②利用手続　（入館は無料）

・受付で「児童センター使用証」の交付を受け、来館するときには使用証を提示する。

・子ども会活動等のため児童センターの部屋の専用許可を受けようとする場合は「特別使用許可書」の交付を受ける。

③開館時間

・午前８時４５分から午後５時１５分まで(５月から８月末は午後６時１５分)

④休館日

・日曜日　　・国民の祝日　・１２月２９日から１月３日まで

・３月３日から新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休館

（３）年間主要行事の実施状況　（人）

実施日	行　事　名	定員	参加者	内　容
4 月 20 日	児ーセンまつり 31	―	1,223	模擬店、ゲーム、クラフト等を行う。全市に児童センターのＰＲを行う。
5 月 18 日	新 1 年生歓迎会	―	63	新１年生にこどもスタッフが児童センターの約束を教え、来館者全員でドッチボール・学年別大なわとび大会を行う。
6 月 22 日	じゃがいも収穫祭	―	42	児童センターの畑で収穫したじゃがいもをみんなで食べ収穫を祝う。
7 月 14 日～15 日	児ーセンツアー'19	20	20	１泊２日で川遊び、野外炊飯、キャンプファイヤー（大森リゾートキャンプ場）
7 月 27 日	夏まつり	―	156	駄菓子屋・こどもバザー 大阪人間科学大学こども保育学科による昔あそび
	平和月間事業	―	156	市平和月間事業としてこども達が作ったお花紙で虹を作りホールに飾った。
7 月 30 日	サロン de シャベロン	―	69	こどもスタッフによる喫茶コーナー

8月24日	すこやかネット	――	227	府立大型児童館ビッグバンによる移動ミュージアム 一中校区地域教育協議会事業
8月29日	乳幼児サマーランド	――	150	乳幼児対象イベント　水遊び、ゲームコーナー、サーキットコーナーなど
9月14日	お月見	50	52	天体観測、お月見団子づくりなど伝統行事を経験する。 （地区民生児童委員協力）
10月31日	ハロウィン	――	25	異校区、異年齢の子ども達が仮装をして楽しむ。
12月7日	クリスマス会 1部 2部	 ―― 70	 232 64	リコーダー、ミュージックベル、ダンス、バンド演奏、クリスマスティーパーティー
12月15日	もちつき	90	148	もちつき大会 (地区民生児童委員協力)
1月4日	書初めの日	――	26	新年の伝統行事 館内掲示をする
2月22日	みしま三丁目劇場	――	121	リコーダー・マジックショー・けん玉・バンド演奏鑑賞行事
3月17日	乳幼児ランド	――	中止	乳幼児対象イベント　消防自動車見学、ゲームコーナー、サーキットコーナーなど
3月18日	もしかめグランプリ	――	〃	けん玉のもしかめ大会
3月24日	児ーセン杯争奪 けん玉道選手権大会	――	〃	市内小学生のけん玉大会 練習成果の発表の場
3月25日	卓球大会	――	〃	市内小学生の卓球大会 練習成果の発表の場
3月27日 ～28日	お別れサロン	――	〃	こどもスタッフによる喫茶コーナー
3月31日	お別れドッチボール大会＆ぜんざい	――	〃	6年生送別ドッチボール大会後、ぜんざいを食べる。 （地区民生児童委員協力）

①定例行事活動

登録制の親子プログラムである「Ｐｕｋｕ²」「Ｍｕｋｕ²」「ひよこちゃんよっといで」やけん玉認定会等を定期的に実施した。

（人）

行　　事　　名	実施回数	延参加者数
ＰｕｋｕＭｕｋｕ6ヶ月～2歳児	28回	992
ひよこちゃんよっといで3歳児～	28回	528
トランポリンの日	9回	783
けん玉認定会(移動児童館含む)	19回	669

②教室活動

職員指導による各種クラフト教室、専門講師を招いた各種教室などを開催した。

（人）

実施日	教室名	定員	参加者	実　施　の　内　容
5月11日	母の日 プレゼント作り	20	20	革のブレスレット作り 講師1名
6月15日	父の日 プレゼント作り	20	20	革のトレイ作り 講師1名
7月29日	工作くん① 「ヤックン」	15	15	老人福祉センターで粘土クラフト（交流事業）
8月5日	工作くん② 「パッチクン」	20	20	パッチワークのトレイづくり（手芸クラフト）
11月16日	クリスマスクラフト	20	20	クリスマスのリース作り
12月21日	しめ縄作り	―	35	しめ縄リースづくり 講師1名
2月1日	節　分	―	59	まめまき・節分ゲーム大会
2月8日	チョコレート作り	24	23	バレンタインのチョコレート作り

③クラブ活動

指導者が児童を集団で指導するクラブを編成し、継続指導を行った。また、幼児親子対象の「おもしろくらぶ」では大阪人間科学大学こども保育学科と連携して実施した。

（人）

クラブ名	期間・活動日・活動日数	部員数	延参加者数
けん玉クラブ(前期)	4 月 4 日～ 9 月 26 日　木曜日 21 回	18	367
〃　（後期）	10 月 5 日～ 2 月 27 日　木曜日 19 回	18	332
卓球クラブ　（前期）	4 月 5 日～ 9 月 27 日　金曜日 22 回	15	315
〃　（後期）	10 月 4 日～ 2 月 28 日　金曜日 17 回	15	244
リコーダークラブ（前期）	4 月 6 日～ 9 月 28 日　土曜日 23 回	15	302
〃（後期）	10 月 5 日～ 2 月 29 日　土曜日 15 回	13	201
クリスマスキッズ	10 月 2 日～12 月 7 日　計 16 回	14	205
おもしろくらぶⅠ期	5 月 17 日～ 7 月 5 日　金曜日 8 回	40	344
〃　Ⅱ期	10 月 3 日～11 月 21 日　木曜日 8 回	40	317
こどもスタッフ（前期）	3 月 2 日～ 9 月 28 日　計 28 回	18	369
〃（後期）	10 月 5 日～ 2 月 22 日　計 14 回	18	147

④各種大会参加

クラブ活動の成果としての発表会や対外試合等に参加した。

（人）

実施日	事業内容	参加者	クラブ	開催場所
5 月 12 日	摂津市こどもフェスティバル 2019	17	けん玉クラブ	大正川河川敷
6 月 9 日	文部科学大臣杯けん玉道選手権大会（南関西予選会）	13	けん玉クラブ有段者	大阪市立住吉小学校
7 月 31 日	リコーダーコンサート	13	リコーダークラブ	別府コミュニティセンター

9 月 21 日	福祉センターまつり	13	リコーダークラブ	摂津市立身体障害者・老人福祉センター
9 月 21 日	卓球クラブ交流試合①	42	卓球クラブ	第 1 児童センター
3 月 14 日	多世代交流事業	中止	リコーダークラブ	第 1 児童センター
3 月 21 日	卓球クラブ交流試合②	〃	卓球クラブ	西京極児童館

（4）こども食堂（社会貢献事業）

①概要

昨年 4 月より法人の社会貢献事業の一環として取り組んだ。開催場所は地域性も鑑み、法人施設がない地域の別府コミュニティセンター、対象は地域の学童児とした。こども食堂の主旨を踏まえ、こどもの居場所づくりとして月 1 回の開催とした。法人のみの取り組みではなく、地域関係者と協力して地域福祉の向上を図り、地域共生社会の実現を目指した。

②参加者数の推移　（人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数		29	30	31	28	28	32	32	33	32	32	30	コロナウィルス感染拡大防止の為中止	337
スタッフ（法人職員）	調理	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		44
	見守り	9	8	6	7	6	6	6	5	5	6	8		72
ボランティア						3	6	3		2	2	2		18
見学		9	4	4	3	2	2				6			30

※参加者数　平均　30.6 人

③見学・ボランティア

4 月　市子育て支援課長・四中校区民生児童委員

6 月　四中校区スクールソーシャルワーカー

7 月　摂津市社協職員･こども食堂開設希望者

8 月～　（11 月除く）　ボランティア協議会

9 月　地域老人クラブ会長･摂津市社協職員･大阪人間科学大学学生ボランティア

１０月　大阪人間科学大学学生ボランティア

（5）使用状況　　（人）

月	個　人　使　用	特別使用	計	開館日数	1日平均
4	3,247（1,650）	32	3,279	24	137
5	2,030　（708）	27	2,057	22	94
6	2,432　（750）	48	2,480	25	100
7	2,706　（851）	44	2,750	26	106
8	2,478　（742）	40	2,518	26	97
9	2,255　（759）	27	2,282	23	99
10	2,268　（894）	60	2,328	24	97
11	2,224　（794）	38	2,262	24	94
12	2,110（1,152）	45	2,155	24	90
1	1,735　（699）	21	1,756	23	76
2	1,825　（665）	45	1,870	23	81
3	47　（0）	15	62	1	62
計	25,357（9,664）	442	25,799	265	97

※（　）は主催事業参加者

特別使用…子育てグループ活動等のため部屋の専用許可を受けようとする場合

（6）年齢別使用証交付状況　　（人）

月	乳児	幼児	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	累計
4	53	121	39	61	65	75	86	62	562	562
5	28	33	16	10	14	23	14	24	162	724
6	13	26	5	23	9	14	16	11	117	841
7	19	27	12	17	11	15	9	9	119	960
8	12	25	11	6	7	15	7	7	90	1,050
9	24	19	6	8	8	10	2	4	81	1,131
10	25	31	0	2	4	6	3	1	72	1,203
11	23	17	7	1	11	3	0	1	63	1,266
12	7	5	2	3	0	3	4	4	28	1,294
1	11	3	2	2	4	7	3	0	32	1,326
2	5	9	6	7	2	2	2	3	36	1,362
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,362
合計	220	316	106	140	135	173	146	126	1,362	

(7) 学校別使用証交付状況　　（人）

月	摂　津	味　舌	三宅柳田	その他	合計	累計
4	259	58	54	17	388	388
5	67	21	13	0	101	489
6	50	18	10	0	78	567
7	34	14	13	13	74	641
8	20	20	8	5	53	694
9	18	14	4	2	38	732
10	6	3	5	2	16	748
11	15	1	4	3	23	771
12	6	7	2	1	16	787
1	5	5	4	4	18	805
2	14	4	2	2	22	827
3	0	0	0	0	0	827
合計	494	165	119	49	827	

(8) ボランティア受け入れ状況

児童センターを利用したＯＢ・ＯＧの中・高校生、大学生、社会人のボランティア、親子プログラムのＯＧである母親ボランティア、地域のボランティアとして民生児童委員等、様々なボランティアを受け入れた。

（日：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
回　　数	16	10	10	5	9	7	15	12	18	8	13	0	123
行事・日常ボランティア延活動者数	66	32	32	25	29	9	51	34	55	14	26	0	373

（９）避難訓練実施状況

全来館者を対象にして火災、地震想定の避難誘導消火訓練を実施した。年間延参加者数は７１名であった。（その他の避難誘導訓練は以下の通り）

実　施　日	参　加　者	実　施　内　容
3 月 17 日	中止	乳幼児ランドで幼児親子を対象に火災を想定して避難誘導訓練及び通報訓練を実施。市消防隊員の講話と消防車の見学を実施。

（１０）個人情報の取り扱い及び虐待防止についての取り組み状況

使用証の交付申請書、使用登録カードをはじめ個人情報が記された書類などの管理は、施錠したキャビネットにて保管した。施設外への個人情報データの持ち出しも一切行わなかった。

虐待やいじめを受けているなどが疑われる児童については、来館時に受付にて様子を見て声かけを行った。様子がおかしい場合、状況観察に努め各職員からアプローチし、状況により学校、家庭と連絡連携し、問題の解決に努めた。

（１１）職員研修

日常業務に必要な技術の習得や質の高いサービス向上を目指し、職員の資質を高めるために研修会に参加した。

研修日	研修名	開催場所	主催	職種	備考
4月16日	子育てに前向きに取り組む方法	摂津市	摂津市子育て支援ネットワーク推進会議	児童厚生員	
5月15日 7月23日 12月10日	ホームページ研修	摂津市	法人内研修	〃	
8月3日	ボランティアコーディネーター養成講座	大阪市	大阪ボランティア協会	〃	
10月25日	大阪府児童厚生員等研修会	大阪市	大阪府立大型児童館ビッグバン	〃	[児童館論]
11月11日					[個別援助活動]
11月13日		堺　市			[表現活動]
					[ゲーム・運動遊び]
12月11日	セコム説明会	摂津市	法人内研修	全職員	
2月17日	発達障害研修	摂津市	摂津市障害者地域自立支援協議会	児童厚生員	
3月3日 5日	働き方改革説明会	摂津市	法人内研修	〃	
2月28日 3月13日	救急救命講習会	摂津市	〃	全職員	コロナウイルス感染拡大防止のため中止

「児童館等における遊びのプログラムの開発、普及と普及方策を検討するための調査研究」

研修日	研修名	開催場所	主催	職種	備考
7月8日 9日	グループワーク＆ワークショップ	堺　市	児童健全育成推進財団	児童厚生員	
12月16日	プログラムの開発実践交流会	東　京	〃	〃	

上記以外に府立大型児童館ビッグバンの担当者が3回来館し、打ち合わせと実践を行った。

（１２）運営委員会について　（人）

	実施日	参加者	内　容
第1回	6月21日	7	委嘱状交付、事業報告、決算概要報告 近況報告、質疑応答
第2回	3月10日	中止	事業計画、予算概要、近況報告を郵送

（１３）新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、玄関に手指消毒液を設置したのをはじめ、各所の消毒や部屋のこまめな換気等の予防対策に取り組んだ。来館者には手洗い、咳エチケットに配慮したマスクの着用を促した。発熱など体調のすぐれない人には来館を見合わせるようにお願いした。

摂津市からの指示で、令和２年２月２６日より行事、イベントを中止とし、自由来館以外のクラブ活動や定例行事を中止した。その後３月３日より年度末まで休館となり、予定していた大会、行事を行えなかった。

利用者に対する周知は掲示板での告知、ホームページほかＳＮＳを利用し状況の変化に混乱を招かぬように対応した。また休館中には自宅でできる遊びの動画などを配信した。

8　摂津市障害者総合支援センター

Ⅰ　摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」

（１）概況

令和元年度は、相談支援部門における事業については、〔１〕摂津市指定「計画相談支援」、〔２〕摂津市委託「摂津市障害者相談支援事業」、〔３〕大阪府指定「地域相談支援」、〔４〕摂津市委託「摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業」、〔５〕大阪府事業で大阪府より相談支援アドバイザーとして委嘱を受けた「大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業」、〔６〕摂津市委託「障害支援区分認定調査」、〔７〕陽だまりと会議室の運営を継続して実施した。

（２）事業の状況

① 計画相談支援（サービス利用支援、継続サービス利用支援）

サービス等利用計画作成を 387 名について実施した。本人が地域でいきいきと自分らしく生活が送れるように本人中心支援計画をケアマネジメント手法を活用して作成し、きめ細やかな支援を行った。また、計画相談支援を導入することにより関係機関の連携強化、明確な役割分担、系統だった支援による本人のエンパワメントの引き出しを行った。

② 障害者相談支援事業

対象者は、摂津市内在住の障がい（身体・知的・精神）者である。

障害者相談支援事業は、知的障がい者を対象としていたが、身体障がい者や精神障がい（主に発達障がい）の継続相談も受けてきている。相談経路は、行政機関や専門機関、各教育機関・学校、病院、地域包括支援センターなどから情報提供を受けたり、障害福祉ハンドブック、ホームページなどを見て連絡される。

（障害者相談支援事業）相談の内訳と件数　（人）

相談内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	1,202	22	422	461	14	221	172	197	232	40	136	68	3,187

（主催事業）

余暇支援の一環として、法人運動会や風船バレーボール大会への参加呼びかけを行い、摂津市から委託を受け、エアロビクスダンス教室を主催した。（市民グループもスタッフとして参加）

	実 施 日	行 事 名	参加人数	内　容	場　所
1	10 月 26 日	摂津宥和会運動会	－	雨天中止	市立三宅柳田小学校
2	12 月 8 日	摂津市風船バレーボール大会	7	ウィングでのチーム参加	市立三宅柳田小学校
3	2 月 24 日	エアロビクスダンス教室	30	エアロビクスダンス	市立三宅柳田小学校

③ 地域相談支援

障がい者支援施設等の施設に入所している障がい者や精神科病院等に入院している精神障がい者、矯正施設を退所される障がい者に対して、住居の確保、地域生活に移行するための活動に関する相談、その他の便宜を供与する地域移行支援は、対象者（支給決定者）はなかった。

居宅において単身等の状況において生活する障がい者に対して、当該障がい者との常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態において相談、その他の便宜を供与する地域定着支援は対応できる体制を確保してきたが対象者（支給決定者）はなかった。

④ 摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業

市町村における相談支援事業が、適正かつ円滑に実施されるよう、相談支援の強化を図ることを目的としている。三障がいを対象とした相談支援拠点（基幹相談支援センター）の設置によって専門的な相談支援等を要する困難事例への対応や総合相談、地域自立支援協議会を構成する相談支援事業者等に対して専門的な指導、助言などを行った。また、障がい者支援施設での長期入所者や精神科病院での長期入院者の地域移行の推進や自立支援協議会の運営などと摂津市障害者介護給付費等支給審査会審査委員の委嘱を受け審査会に出席した。

１）市自立支援協議会実務担当者会議　年３２回
（事務局会議･相談支援部会、障害児相談連絡会、地域移行部会等）
２）摂津市障害者地域自立支援協議会代表者会議　年　１回
３）各支援学校主催会議や進路支援等　年　９回
４）相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整　年５５回

５）介護給付費等支給審査会　年　４回
６）地域移行・各種ネットワーク会議等　年　７回
７）支援困難事例や初期相談等の個別支援　年５２回
８）成年後見利用支援　年　０回
９）その他（研修講師、研修受講、市民団体への助言など）　年１４回
合計１７４回

⑤ 大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業

大阪府の地域生活支援事業として位置づけられており、障がい者及び障がい児の相談支援に関し、地域における相談支援体制整備に向けて実績を有する、あるいは相談支援事業に従事した相当期間の経験を有する等、専門性の高いアドバイザーを派遣し、地域のネットワーク構築（地域自立支援協会等）に向けた助言等、広域的支援を行うことにより、地域における相談支援体制の整備を推進することを目的としている。

１）アドバイザー報告連絡調整会議等　年　６回
２）市町村地域自立支援協議会連絡会議　年　２回
３）大阪府障がい者自立支援協議会委員参加　年　１回
４）市町村へのアドバイザー派遣　年２０回
合計　２９回

⑥ 障害支援区分認定調査員

障害福祉サービス（介護給付費）の支給にあたり、市から障害支援区分認定調査員の委託を受け、１０８件の認定調査を実施した。

⑦ 陽だまりと会議室(貸室)の運営

障がい福祉の啓発を目的に当センターロビーに市内日中活動系事業所の利用者が作った作品の展示(一部は販売)と、市民が自由に持ち帰ることが出来るよう障がい福祉事業所、機関、当事者団体のパンフレットや機関紙等を設置し、障がい当事者や家族、関係者に作品を鑑賞、購入していただいた。

また、市内障がい福祉事業所や当事者団体の活動を支援する等の目的で、会議室の貸室事業を継続し、必要に応じて基幹相談支援センター機能強化事業として、当事者団体等へ助言や情報提供を行った。

現在、貸室登録団体は１２団体で令和元年度利用実績回数は３１回。

（３）研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

実施日	内容	場所	主催	参加者
4 月 3 日	着任時研修	摂津市障害者総合支援センター	内部研修	相談員 1 名
5 月 10 日	平成 31 年度第 1 回障がい支援区分認定調査員研修	たかつガーデン	大阪府福祉部障がい福祉室	相談員 1 名
6 月 24 日	相談支援部会相談支援専門員研修	摂津市障害者総合支援センター	基幹相談支援センター	管理者 1 名 相談支援専門員 3 名
7 月 10 日	基本相談支援について	摂津市障害者総合支援センター	基幹相談支援センター	管理者 1 名 相談支援専門員 3 名
7 月 10 日 11 日 25 日 26 日 9 月 6 日	令和元年度　大阪府相談支援従事者初任者研修	国際障害者交流センター　ビッグ・アイ	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団	相談員 1 名
8 月 7 日 10 月 9 日 12 月 11 日 1 月 15 日	発達障がい者の地域支援を考える会　支援者のための勉強会 1（全 4 回）	ドーンセンター	大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか	相談支援専門員 1 名
8 月 29 日	個別ＳＳＴを学ぶ研修会	大阪府社会福祉会館	大阪府立砂川厚生福祉センター	相談支援専門員 1 名
10 月 17 日	高齢障がい者支援研修	摂津市地域福祉活動支援センター	地域包括支援センター 基幹相談支援センター	管理者 1 名 相談支援専門員 4 名
10 月 29 日 11 月 1 日 11 日 19 日 25 日	令和元年度　大阪府主任相談支援専門員養成研修	大阪府立障がい者自立センター	大阪府障がい者自立相談支援センター	相談支援専門員 1 名
10 月 30 日	令和元年度　精神保健福祉関係機関職員研修会『アルコール問題に気づくポイントと見立て方』	大阪府茨木保健所	大阪府茨木保健所 地域保健課	相談支援専門員 1 名

11 月 1 日	「職場のハラスメントを考える」	摂津市立みきの路	法人内部研修	相談支援専門員 2 名
11 月 8 日	「職場のハラスメントを考える」	摂津市立ひびきはばたき園	法人内部研修	管理者 1 名 相談支援専門員 3 名
11 月 8 日 28 日 29 日	令和元年度　大阪府相談支援従事者現任研修	国際障害者交流センター　ビッグ・アイ	大阪府障害者福祉事業団	相談支援専門員 1 名
11 月 14 日	防災研修	摂津市立 コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	管理者 1 名 相談支援専門員 2 名
11 月 18 日	令和元年度　市町村障がい者福祉担当者実務研修会	大阪府立急性期・総合医療センター	大阪府障がい者自立相談支援センター	相談支援専門員 1 名
12 月 23 日 1 月 14 日 15 日	令和元年度　大阪府相談支援従事者現任研修	たかつガーデン	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会	相談支援専門員 1 名
2 月 13 日	令和元年度　難病関係機関職員研修会	大阪府茨木保健所	大阪府茨木保健所	相談支援専門員 1 名
2 月 17 日	発達障害研修	摂津市立 コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	管理者 1 名 相談支援専門員 4 名
2 月 21 日	基幹相談支援センターとひまわりとの意見交換会	大阪弁護士会館	大阪弁護士会 大阪府地域生活定着支援センター	相談支援専門員 1 名

（4）新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなかで、摂津市や大阪府から発表される情報を集めつつ、来所者に対してはアルコール消毒液での手指の消毒や咳エチケットの依頼、体調不良者に対しては検温を依頼し、相談室使用後にはアルコール消毒液等による消毒を実施して感染防止に努めた。

当センターの業務は外部者との接触が多いので職員に対しては毎朝の検温と外出時のマスクの着用、事務室の定期的な換気、手洗いの徹底を実施した。

Ⅱ　茨木・摂津障害者就業・生活支援センター

（１）概況

茨木・摂津障害者就業・生活支援センターは、職業生活における自立を図るために、就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障がい者に対し、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携（連絡・調整）を図りつつ、身近な地域において必要な指導・助言その他の支援を行うことにより、その雇用の促進及び職業の安定を図った。

当センターの年間就職者数は６４名で、障がい種別にみると、身体障がい者が８名、知的障がい者が４２名、精神障がい者が１４名で摂津市・茨木市別に就職状況をみると、摂津市が３２名で茨木市が３２名であった。また、職場定着支援については、例年同様、当センターの登録者が増加し、それに伴い定着支援の必要性が増してきている。支援対象者は、年々増加する中で職員体制を確保するとともにサービスの質の向上を目指し、初期相談時にアセスメント表を作成して利用者の状況やニーズを正しく把握するように努めた。

また、週１回のケース会議実施や毎月第１土曜日の相談日の実施を継続した。
支援の効率性を高めるために実施してきた新規利用者を対象とした集団でのサービス内容説明会であるガイダンスを継続し、就業・生活支援センターの事業説明と支援内容を理解していただいた上でサービス利用を希望される方には個別面談を実施しているが概ね好評である。

就労支援のネットワーク構築については、摂津・茨木両市の障害者地域自立支援協議会委員や摂津支援学校協議会委員の就任をはじめ、行政及び関係機関、企業等とのネットワークを深めていく中で、地域における障がい者の就労支援を担う機関としてその果たすべき役割が大きくなってきている。さらに、支援学校生徒の卒業後の支援が切れ目のないようにしていくために４か所の特別支援学校と３か所の障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議を年に３回実施した。

（２）就業・生活支援センター活動の状況（利用者参加）

実 施 日	行 事 名	場　所	内　容
5 月 15 日 5 月 30 日	茨木支援学校進路相談会	茨木支援学校	就職希望の３年生の進路相談
6 月 12 日	障がい者合同就職面接相談会	高槻市生涯学習センター	高槻市障がい者合同企業面接会
7 月 10 日	摂津支援学校職業相談会	摂津支援学校	就職希望の３年生の職業相談、就業・生活支援センターの事業内容の説明
7 月 25 日	とりかい高等支援学校職業相談会	とりかい高等支援学校	就職希望の３年生の職業相談、就業・生活支援センターの事業内容の説明

9月6日	摂津市障がい者就職フェア	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障がい者合同企業面接会
9月11日	摂津支援・とりかい高等支援学校合同ガイダンス	摂津支援学校	就業・生活支援センターのガイダンスと利用登録
10月2日	障害者就職面接会	マイドームおおさか	大阪府障害者就職面接会
11月27日	茨木市障がい者就労支援フェア	茨木市役所	茨木市障がい者合同企業面談会

（3）利用者の状況

① 地域別相談者数 （人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	220	89	142	10	461
茨木市	398	125	295	27	845
合計	618	214	437	37	1,306

② 新規相談者数 （人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	20	2	12	1	35
茨木市	20	6	20	2	48
合計	40	8	32	3	83

③ 延べ相談件数 （人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	967	80	352	52	1,451
茨木市	873	219	541	64	1,697
合計	1,840	299	893	116	3,148

④ 市別利用登録者数 （人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	152	44	50	4	250
茨木市	315	66	110	12	503
合計	467	110	160	16	753

（4）就職の状況

① 職場実習　（人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	10	0	3	0	13
茨木市	14	3	5	1	23
合計	24	3	8	1	36

② 就職者数　（人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	24	2	6	0	32
茨木市	18	6	8	0	32
合計	42	8	14	0	64

（5）職員研修

利用者の職業生活における自立を図ることを目的に、必要な情報・知識を習得し、職員の資質を高めるため研修会、連絡会等へ参加した。

実 施 日	研 修 名	主　催	場　所	内　容
5月21日 ～23日	就業支援担当者研修	障害者職業センター	幕張障害者職業センター	障がい特性と職業的課題、労働関係法規の基礎知識、職場における雇用管理の実際、障がい者雇用対策の概要と支援センターの役割、関係機関との連携と地域ネットワークの活用、就業支援におけるケースマネジメント、事業主支援の基礎理解、職場定着のための取組み、ケーススタディ

8月6日 ～9日	就業支援担当者研修	障害者職業センター	幕張障害者職業センター	障がい特性と職業的課題、労働関係法規の基礎知識、職場における雇用管理の実際、障がい者雇用対策の概要と支援センターの役割、関係機関との連携と地域ネットワークの活用、就業支援におけるケースマネジメント、事業主支援の基礎理解、職場定着のための取組み、ケーススタディ、課題分析の概要と実践
8月7日	発達障がい者の地域支援を考える会～支援者のための勉強会～	アクトおおさか	ドーンセンター	発達障がいと二次障がい・二次的な問題
8月23日 ～24日	日本職業リハビリテーション学会第47回大阪大会	日本職業リハビリテーション学会	立命館大学いばらきキャンパス	支援者のためのアンガーコントロール、精神障がい者の職場定着をテーマとした企業担当者による実践報告、現場で使える認知行動療法、職場への定着のための支援を考える、教育から職業への移行に焦点を当てて

8月28日	就業支援基礎講座	たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク	ジョブジョイントおおさかたかつきブランチ	就業支援者としての基礎知識、就労支援プロセスについて、グループディスカッション
8月30日	就業支援基礎講座	たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク	ジョブジョイントおおさかたかつきブランチ	精神疾患とストレス、発達障がいの方の就労支援・職場のアセスメント
8月30日	実務者研修	大阪府就ぽつ連絡会	大阪府咲洲庁舎	大阪の就ぽつについて話をしよう
9月4日	就業支援基礎講座	たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク	ジョブジョイントおおさかたかつきブランチ	仕事の指導・システマティックインストラクション、ナチュラルサポートの形成・会社の方に対する環境調整
9月6日	就業支援基礎講座	たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク	ジョブジョイントおおさかたかつきブランチ	就労支援の社会資源とネットワークについて、当事者の体験談発表、グループディスカッション
10月9日	発達障がい者の地域支援を考える会～支援者のための勉強会～	アクトおおさか	ドーンセンター	ＡＤ／ＨＤだけど事務員をやってみたら…こうなった
10月10日	精神障がい者・発達障がい者雇用セミナー	大阪府	エルおおさか	精神・発達障がい者の雇用及び雇用管理について、社会適応訓練事業を利用して、障がいのある方の就労・定着支援における連携体制について

12 月 5 日	実務者研修	大阪府就ぽつ連絡会	大阪府合同庁舎	テーマ別グループワーク
12 月 11 日	発達障がい者の地域支援を考える会～支援者のための勉強会～	アクトおおさか	ドーンセンター	事例検討（知的障がいを伴うケース）
1 月 15 日	発達障がい者の地域支援を考える会～支援者のための勉強会～	アクトおおさか	ドーンセンター	事例検討（知的障がいを伴なわないケース）
1 月 31 日	障がい年金制度について～障がい者の暮らしを支える障がい年金制度～	大阪府障がい者自立支援センター	大阪府障がい者自立支援センター	障害年金制度について、障がい者の暮らしを支える障がい年金制度
2 月 5 日	実務者研修	大阪府就ぽつ連絡会	大阪府咲洲庁舎	先輩ワーカーとの意見交換会
2 月 17 日	発達障害研修	摂津市地域自立支援協議会	摂津市立コミュニティプラザ	発達障がいの理解と支援、グループワーク
2 月 19 日	知っておきたい！障害年金のこと	とよなか障害者就業・生活支援センター	ホテルアイボリー	障がい年金の中身、老齢年金との関係、申請方法や再申請について

（6）関係機関との会議

会議名	会議内容	回数
大阪障害者就業･生活支援センター連絡会	ハローワークとのチーム支援について、就ポツワーカーの役割と今後､私たちの事業における生活支援、就業・生活支援センターにおける地域性を生かしたオリジナルの取り組みについて、就労パスポートについて	年 4 回
摂津市障害者地域自立支援協議会代表者会議	実務担当者（相談支援部会）からの報告、障害福祉計画等の実績について、地域生活支援拠点事業について	年 1 回
大阪障害者就業･生活支援センター連絡会　北摂ブロック　ほくほく会	各センターの取り組み状況について、事例検討、ジョブコーチ支援（ＪＣのフォローアップについて)、人材育成の取り組みについて、就労パスポートについて	年 4 回

令和元年度障害者就業・生活支援センター近畿ブロック経験交流会議（兵庫）	精神障がい者の就労支援について基調講演、グループ別意見交換会	年１回
摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会	各センター近況報告、部会報告、その他	年６回
摂津就労支援ネットワーク会議	各機関の近況、就労継続Ａ型の状況、その他	年４回
大阪府立摂津支援学校運営協議会	今年度の学校経営計画について、各学部の教育課程、今年度の使用教科書について、授業アンケート	年３回
三島ブロック進路指導関係機関連絡会	支援学校卒業予定生徒の進路状況の報告と事例・課題についての協議	年３回 １回中止
茨木市障害者地域自立支援協議会定例会	今年度の事業について、各部会・ＰＴ等企画について、災害時における課題整理表、全体会について、災害対策ワーキンググループについて、しょうがい福祉フェスタについて、来年度協議会予定について	年７回
茨木市障害者地域自立支援協議会就労支援部会	各機関からの状況報告、就労に関する課題について、障害者雇用支援セミナー、リーフレット作成ＷＧ、部会構成メンバーについて	年６回
茨木市障害者地域自立支援協議会全体会議	昨年度の実績報告、相談支援体制と実施状況について、今年度の自立支援協議会方針、昨年度の協議会取組報告と今年度の計画 災害対策ＰＴの立ち上げ及び取組状況、教育と福祉の連携、障害者虐待防止センター実績報告について	年２回
特別支援学校と障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議	各支援学校の進路進捗状況、各センターの近況、児童養護施設利用生徒の状況確認、企業情報の交換	年３回
就労支援関係事業所連絡会議（法人内）	各事業所の近況	年３回

（７）就業・生活支援センターのＰＲ活動

摂津市、茨木市の障がい福祉担当課、商工担当課をはじめ、両市の広報への掲載や茨木公共職業安定所等主催の障がい者合同面接会において企業、求職者に対してＰＲ活動に努めた。